

### 3 令和3年度協働事業一覧

No.	令和3年度 新規	令和3年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
1			多摩川流域連携会議における構成各市区との連携	事業協力, 情報交換・情報提供	多摩川流域連携会議	企画経営課
2			地域活性化包括連携協定による取組	事業協力, 情報交換・情報提供	株式会社セブーンイレブン・ジャパン, 株式会社イトーヨーカ堂	企画経営課
3			包括的パートナーシップに関する協定による取組	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	アフラック生命保険株式会社	企画経営課
4			調布市で考える, 未来のまちづくり課題解決型ワークショップ	共催, 事業協力	アフラック生命保険株式会社	企画経営課
5	○		調布スマートシティ協議会	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム, アフラック生命保険株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日本電信電話株式会社, 日本郵便株式会社, 鹿島建設株式会社 鹿島技術研究所, 多摩信用金庫, 株式会社東京スタジアム	企画経営課
6	○		調布市総合計画策定産学官連携会議	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム, アフラック生命保険株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日本電信電話株式会社	企画経営課
7	○		デジタル化に対応した食育の推進	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社, 株式会社NTTアグリテックノリジー, 市立小学校	企画経営課 学務課
8	○		eスポーツ体験交流会	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社, 株式会社NTT-eSports, しばき彩ステーション	企画経営課 高齢福祉担当
9			声の広報	事業協力	特定非営利活動法人調布市民放送局, 東京YWCA国領こだまグループ	広報課
10	○		調布・狛江の魅力PR部	事業協力	調布市又は狛江市に在住・在勤の大学生	広報課
11			調布地域情報化推進協議会の運営	事業協力, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	NPO法人調布市地域情報化コンソーシアム	デジタル行政推進課
12			ICT東京フォーラム2021	共催	関東ICT推進NPO連絡協議会	デジタル行政推進課
13			地域防災体制の充実	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	防災市民組織	総合防災安全課
14			令和3年度シェイクアウト訓練	事業協力	「災害時における放送等に関する協定」締結団体	総合防災安全課
15		○	令和3年度調布市総合水防訓練	事業協力	「災害時における各種協定」締結団体	総合防災安全課
16		○	令和3年度避難所開設訓練	事業協力	自治会, 地区協議会, NPO法人調布心身障害児・者親の会	総合防災安全課
17		○	令和3年度調布市総合防災訓練	事業協力	災害に関する協定締結団体, 自治会, 地区協議会	総合防災安全課
18	○		令和3年度東京都・調布市合同帰宅困難者対策訓練	事業協力	調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会	総合防災安全課
19			「中学生の税についての作文」の表彰	事業協力	武蔵府中納税貯蓄組合連合会	納税課
20		○	人権啓発協働事業	事業協力, 情報交換, 情報提供	調布市人権擁護委員	市民相談課

No.	令和3年度 新規	令和3年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
21			府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル2021	実行委員会	ラグビーフェスティバル実行委員会、東京サントリーサンゴリアス	オリンピック・パラリンピック担当
22	○		東京2020オリンピック聖火リレー	実行委員会、事業協力	東京都聖火リレー実行委員会、東京2020組織委員会、深大寺、市内音楽大学、調布リトルリーグ・リトルシニア	オリンピック・パラリンピック担当
23	○		東京2020パラリンピック聖火リレー	実行委員会、事業協力	東京都聖火リレー実行委員会、東京2020組織委員会、深大寺、FC東京あおぞらサッカースクール、調布市福祉作業所等連絡会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
24	○		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会	事業協力、情報交換・情報提供	東京都、東京2020組織委員会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
25	○		応援LIVEイベント in 調布(東京2020公認プログラム)	事業協力	東京2020組織委員会、東京フットボールクラブ株式会社、NTT東日本バドミントン部、東芝プレイブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアスほか	オリンピック・パラリンピック担当
26	○		オンライントークイベント2021 in Chofu	事業協力	東京フットボールクラブ株式会社、NTT東日本バドミントン部、東芝プレイブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアス、調布よさこい実行委員会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
27	○		サウジアラビア応援DAYS	共催、事業協力	内閣官房、岩手県大槌町、愛媛県新居浜市、サウジアラビア大使館文化部、調布市サウディアラビア友好会、調布市国際交流協会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
28		○	東京都市町村ポッチャ大会	共催、実行委員会、事業協力	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会、特定非営利活動法人調和SHC倶楽部、調布市スポーツ推進委員会	オリンピック・パラリンピック担当
29	○		「ラガマルくんのラグビーセブンズガイドブック」の発行	実行委員会、事業協力	ラグビーフェスティバル実行委員会、ラガマルくん	オリンピック・パラリンピック担当
30	○		東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コース体験イベント「東京8市 Smile Road Project」	実行委員会、事業協力	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会	オリンピック・パラリンピック担当
31	○		東京2020大会を契機とした市庁舎装飾に関する取組	事業協力、指定管理・業務委託	東京フットボールクラブ株式会社、東芝プレイブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアス、調布企画組、角川大映スタジオ、水木プロ、茂本ヒデキチ、日本車いすバスケットボール連盟	オリンピック・パラリンピック担当
32	○		「スポーツ×共生社会」オンラインシンポジウム	事業協力、指定管理・業務委託	東京フットボールクラブ株式会社、株式会社HIRAKU、株式会社つなひろワールド、日本ブラインドサッカー協会	オリンピック・パラリンピック担当
33	○		東芝・サントリー市民招待事業	実行委員会、事業協力	ラグビーフェスティバル実行委員会、東芝プレイブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアス	オリンピック・パラリンピック担当
34			市民団体等との連携による平和祈念事業の開催	共催、事業協力、指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット、FC東京、株式会社タキオンジャパン、調布市原爆被害者の会、調布平和のつどい実行委員会	文化生涯学習課
35			国際交流事業の実施	共催、補助・助成、指定管理・業務委託	調布市国際交流協会	文化生涯学習課
36			「バラハートちようふ」の推進(調布市パリアート展2021)	共催	調布市福祉作業所等連絡会	文化生涯学習課
37			市民との連携による生涯学習のきっかけづくり	事業協力	地域デビュー推進委員会、各生涯学習サークル	文化生涯学習課
38			「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」関連事業団体との連携	共催、事業協力	調布市文化協会ほか	文化生涯学習課
39			フードドライブの実施	事業協力、情報交換・情報提供	調布市消費者団体連合会、調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会、市内協力事業者	文化生涯学習課
40			食品ロス削減に向けた取組	事業協力	ニチバン株式会社	文化生涯学習課
41			消費生活講座	共催	東京都	文化生涯学習課

No.	令和3年度 新規	令和3年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
42			調布市文化・コミュニティ振興財団との連携	共催, 指定管理・業務委託	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	文化生涯学習課
43			相互友好協力協定締結大学定例会	事業協力, 情報交換・情報提供	相互友好協力協定締結大学	文化生涯学習課
44			相互友好協力協定締結大学との連携	共催, 事業協力	相互友好協力協定締結大学(電気通信大学)	文化生涯学習課
45			ちょうふ地域コミュニティサイトの運用	指定管理・業務委託	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	協働推進課
46			ふれあいの家の管理運営	指定管理・業務委託	ふれあいの家運営委員会(18施設)	協働推進課
47			コミュニティ推進事業	補助・助成	調布市自治会連合協議会, 各地区協議会	協働推進課
48			自治会といっしょに! キャンペーン	事業協力	調布市自治会連合協議会	協働推進課
49			市民活動支援センターの運営	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	協働推進課
50			いやしとふれあいの旅事業 (宿泊料金の割引, 調布発着のバスツアー)	事業協力, 情報交換・情報提供	京王観光株式会社, さくらツーリスト株式会社	協働推進課
51			調布まち活フェスタ	実行委員会, 事業協力	まち活フェスタ実行委員, 調布市市民活動支援センター	協働推進課
52			男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」の開催	共催	男女共同参画推進フォーラム実行委員会	男女共同参画推進課
53			女性の「キャリア研究」についての講演	事業協力	白百合女子大学	男女共同参画推進課
54			女性のための起業セミナー	共催	日本政策金融公庫, 多摩信用金庫	男女共同参画推進課
55			市内映画・映像関連企業や市民団体等と連携した「映画のまち調布」の推進	共催, 実行委員会, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	角川大映スタジオ, 日活調布撮影所, 子どもたちと映画寺子屋, NPO法人調布シネマクラブ…他	産業振興課
56			商店街活性化の推進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	市内商店会, 市内事業者, 調布市商工会, 調布駅前商店街	産業振興課
57			商工会事業の支援	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市商工会	産業振興課
58			調布駅前から盛り上げる会	実行委員会, 事業協力, 情報交換・情報提供	調布駅前から盛り上げる会(調布駅前商店街, 京王電鉄株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市商工会, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団…他)	産業振興課
59			観光協会事業の促進	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市観光協会	産業振興課
60			「水木マンガの生まれた街 調布」の推進	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	株式会社水木プロダクション, 鳥取県, 境港市, 東映アニメーション株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市観光協会…他	産業振興課
61			ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業(調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定)	事業協力	一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団	産業振興課
62			就労支援セミナー等の開催	共催	ハローワーク府中, 厚労省東京労働局, 公益財団法人東京しごと財団, 東京しごとセンター多摩, 東京都産業労働局	産業振興課
63			金融機関との連携による民間ノウハウを活用した中小企業支援事業	事業協力	多摩信用金庫, 三井住友銀行, りそな銀行, みずほ銀行及び みずほ信託銀行, 西武信用金庫	産業振興課

No.	令和3年度 新規	令和3年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
64		○	令和3年度調布市農産物産品評会	事業協力	調布市農業まつり実行委員会	農政課
65			調布市体育協会事業の支援	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	公益社団法人調布市体育協会	スポーツ振興課
66			FC東京による地域貢献活動支援	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	東京フットボールクラブ株式会社	スポーツ振興課
67		○	第4回調布市小学生ラグビー大会	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	調布市ラグビーフットボール協会, 東芝ブレイブルーパス東京	スポーツ振興課
68		○	調布市障害者スポーツ体験会	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	武蔵野の森総合スポーツプラザ, (公社)東京都障害者スポーツ協会, (一社)日本車いすバスケットボール 連盟, (特非)日本ブラインドサッカー 協会, FC東京, 調布市スポーツ推 進委員会	スポーツ振興課
69			調布市障害者スポーツの振興における 協議体	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市体育協会, 調布市スポーツ推 進委員会, 調和SHC倶楽部, 調布 市作業所等連絡会, 地域生活支援 センター, 調布市社会福祉協議会, 調布市社会福祉事業団, 東京都, 東 京都障害者スポーツ協会	スポーツ振興課
70		○	NTT東日本バドミントン部との連携事業	事業協力	NTT東日本バドミントン部	スポーツ振興課
71		○	調布市ニューススポーツ交流会	事業協力	調布市スポーツ推進委員会	スポーツ振興課
72			子育て支援サイト「コサイト」の運営支援	情報交換・情報提供	NPO法人ちようふ子育てネットワ ーク・ちよこネット	子ども政策課
73			「こどもとフラット」の運営支援	情報交換・情報提供	(社福)調布白雲福祉会, NPO法人 ちようふ子育てネットワーク・ちよこ ネット	子ども政策課
74			子育て情報誌の発行	事業協力	株式会社ジチタイアド	子ども政策課
75			子ども・若者総合支援事業 ここあ	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議 会	子ども家庭課 児童青少年課 生活福祉課
76			健全育成推進地区委員会との連携	補助・助成	健全育成推進地区委員会	児童青少年課
77			調布市青少年ステーション(CAPS)の 運営	指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット	児童青少年課
78			子ども・若者居場所事業	補助・助成	特定非営利活動法人青少年の居場 所Kiitos	児童青少年課
79			第71回“社会を明るくする運動”	実行委員会	社会を明るくする運動調布市推進委 員会	福祉総務課
80			高齢者健康づくり事業	補助・助成, 情報交換・情報提供	麻雀教室, 東京YWCA国領, ソング 布田…他	高齢者支援室
81			生活支援体制整備事業	事業協力	市民	高齢者支援室
82			調布市障害者余暇活動支援事業「ほり でーぶらん」	実行委員会	ほりでーぶらん実行委員会	障害福祉課
83			あおぞらサッカースクール	事業協力, 補助・助成	FC東京, 認定特定非営利活動法人 トラッソス	障害福祉課
84			「がん啓発・がん検診の受診率向上に 向けた包括的連携」に関する協定に基 づく普及啓発事業	共催	アフラック生命保険株式会社	健康推進課
85			歯と健康のつどい	共催	一般社団法人調布市歯科医師会	健康推進課

No.	令和3年度 新規	令和3年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
86			緊急医療救護所設置・運営訓練	事業協力	調布市医師会, 調布市歯科医師会, 調布市薬剤師会, 調布市柔道整復師会	健康推進課
87			公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	調布未来のエネルギー協議会, 調布まちなか発電株式会社	環境政策課
88			崖線緑地保全	補助・助成	入間・樹林の会, カニ山の会, 若葉の森3・1会, 若葉緑地の会, 凸凹森の会, 緑につつまれた街づくりの会, 入間町2丁目緑地の会	緑と公園課
89			公遊園等清掃協力	補助・助成	自治会, 子ども会, 老人会, 地域グループ	緑と公園課
90		○	花いっぱい運動事業	補助・助成	自治会, 地域グループ	緑と公園課
91			資源物地域集団回収事業	補助・助成	市民団体	ごみ対策課
92			景観まちづくりの推進	事業協力	調布市景観まちづくり市民検討会	都市計画課
93			まちの「つながり」プロジェクト 講演&トークセッション	事業協力	調布市空き家等対策推進協議会, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会, 共立女子大学, SUGAWARADAIKU建築事務所株式会社	住宅課
94	○		スマイのミライセミナー・個別相談会	共催	調布市空き家ワンストップ相談窓口事業者 (日本地主家主協会, 東京都建築士事務所協会(南部支部), 東京都行政書士会 調布支部, ミサワホーム, 三井住友信託銀行, 多摩信用金庫)	住宅課
95	○		～15年後の我が家へ～住まいのフォトレター展	事業協力	見華学園中学校高等学校, 共立女子大学他	住宅課
96			調布市ふれあいのみちづくり事業	事業協力, 情報交換・情報提供	大町自治会ほか17団体	道路管理課
97			TSマーク付帯保険加入促進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	調布市自転車商協同組合 調布支部	交通対策課
98	○		北部地域巡回公共交通(実証実験)事業	事業協力, 情報交換・情報提供	北ノ台まちづくりネットワーク・ふじみ地区自治会等連合会・北部地区まちづくり推進準備会のほか, 深大寺北町, 深大寺東町の市民	交通対策課
99			学校開放事業	情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	学校開放運営委員会	社会教育課
100		○	調布市成人式	実行委員会	成人式実行委員会	社会教育課
101			障害者社会活動支援事業	事業協力, 指定管理・業務委託	調布のびのびサークル	社会教育課
102			学習グループの活動	補助・助成	学習グループサポート事業登録グループ(コミュニケーション学習会 SMILE, たんぼぼの会, CCD, 子育てネット kono kono, 歴史サークル 芝蘭, 教育フォーラム・のどらか, つむぐ)	社会教育課
103			リーダー養成講習会	指定管理・業務委託	調布市レクリエーション研究会	社会教育課
104			調布市公立学校PTA連合会の活動	実行委員会, 事業協力, 補助・助成	調布市公立学校PTA連合会	社会教育課
105			こどもの緊急避難場所提供	事業協力, 情報交換・情報提供	市内小学校PTA校外委員及び健全育成委員, 協定締結機関	社会教育課

No.	令和3年度 新規	令和3年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
106			社会教育関係団体の活動	事業協力, 補助, 助成	社会教育関係登録団体(アカデミー愛とびあ, 調布市公民館・文化会館たづくり利用者会議, 調布さくらウィンドオーケストラ, 調布フィーリングアーツ, 調布フィルハーモニー管弦楽団, ぶちぶち, 調布市青少年吹奏楽団, 混声合唱団 七福神, ジャズ・ボーカル・ドリーム)	社会教育課
107			地域文化祭	実行委員会	東部地域文化祭実行委員会 西部地域文化祭実行委員会 北部地域文化祭実行委員会	東部公民館 西部公民館 北部公民館
108			「日本史を学ぶ会」公開講座	共催	日本史を学ぶ会	東部公民館
109	○		地域連携事業「桐朋女子中・高等学校」	共催, 事業協力	桐朋女子中・高等学校	東部公民館
110	○		体験教室「弾けたらうれしいウクレレ」	共催	ノアレア (西部公民館利用登録団体)	西部公民館
111	○		体験教室「一度やってみたい太極拳」	共催	西部慢慢児の会 (西部公民館利用登録団体)	西部公民館
112	○		「小倉百人一首の世界 歌と歌人とその時代」	共催	小倉百人一首を楽しむ会 (西部公民館利用登録団体)	西部公民館
113			『知りたい』が未来をつくる! 『科学道100冊』図書展	事業協力	科学道100冊委員会	北部公民館
114	○		北の杜講座「みんなで踊ろう盆踊り体験～東京音頭, 調布音頭など」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
115			読書啓発事業	共催	アカデミー愛とびあ	図書館
116			図書館の利用支援	事業協力	図書館に登録している音訳者・点訳者・布の絵本製作者・宅配協力員	図書館
117			地域文化講演会「史料に見る調布の用水と水車」	共催	調布史談会	郷土博物館

※令和3年度から新規に開始した事業は25事業です。

## 4 協働事業調査票

令和3年度の協働事業について、概要をまとめた調査票を市の組織(部)別に掲載しています。調査票の見方は下記を御参照ください。

また、各取組及び公表項目は、平成22年3月に策定した協働推進ガイドブックに準じて設定しています。

### 【協働事業調査票の見方】

協働事業名には、実際に行った事業名を、事務事業名には、事務事業評価の事務事業名を記載しています。

協働事業の説明と協働の方法等について記載しています。

協働のパートナーの形態・名称を記載しています。一つの事業に複数のパートナーと協働する場合があります。

事業が、「パートナー」、「市」どちらからの提案により協働で行われることになったのか記載しています。

		No. **	
協働事業名		所管部課名	
事務事業名		電話番号	
事業の概要 (協働を行った事業の説明と協働の方法など)			
協働のパートナー		事業提案者	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成		分野
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託 <input type="checkbox"/> 関連施策※		
役割分担	パートナーの役割		
	市の役割		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
協働に当たっての課題と対応			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

令和3年度から新規に実施した事業か、令和2年度以前から実施している事業なのか、チェックを入れています。記述欄には、「新規」の場合は事業のきっかけやパートナーの選定方法などを記載しており、「継続」の場合は前年度からの変更点やこれまでの実績をどのように活かしたのかなどを記載しています。

協働したことによる成果を記載しています。

協働に当たっての課題と対応等を記載しています。

# 行政経営部

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
1	多摩川流域連携会議における構成各市区との連携	事業協力, 情報交換・情報提供	多摩川流域連携会議	企画経営課
2	地域活性化包括連携協定による取組	事業協力, 情報交換・情報提供	株式会社セブン-イレブン・ジャパン, 株式会社イトーヨーカ堂	企画経営課
3	包括的パートナーシップに関する協定による取組	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	アフラック生命保険株式会社	企画経営課
4	調布市で考える, 未来のまちづくり-課題解決型ワークショップ-	共催, 事業協力	アフラック生命保険株式会社	企画経営課
5	調布スマートシティ協議会	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム, アフラック生命保険株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日本電信電話株式会社, 日本郵便株式会社, 鹿島建設株式会社 鹿島技術研究所, 多摩信用金庫, 株式会社東京スタジアム	企画経営課
6	調布市総合計画策定産学官連携会議	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム, アフラック生命保険株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日本電信電話株式会社	企画経営課
7	デジタル化に対応した食育の推進	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社, 株式会社NTTアグリテクノリジー, 市立若葉小学校	企画経営課 学務課
8	eスポーツ体験交流会	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社, 株式会社NTT-eSports, しばさき彩ステーション	企画経営課 高齢福祉担当
9	声の広報	事業協力	特定非営利活動法人調布市民放送局, 東京YWCA国領こだまグループ	広報課
10	調布・狛江の魅力PR部	事業協力	調布市又は狛江市に在住・在勤の大学生	広報課
11	調布地域情報化推進協議会の運営	事業協力, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	NPO法人調布市地域情報化コンソーシアム	デジタル行政推進課
12	ICT東京フォーラム2021	共催	関東ICT推進NPO連絡協議会	デジタル行政推進課

協働事業名	多摩川流域連携会議における構成各市区との連携	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	企画調整	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
多摩川流域の全11自治体（令和3年度末現在）が、多摩川をテーマとした連携を企画・展開することを目的に平成25年4月から多摩川流域連携会議を開催している。会議では、共通する行政課題や広域的な課題等について意見交換を行うほか、多摩川流域郷土芸能フェスティバルでの連携した取組など、各自治体若手職員相互の人事交流・人材育成も目的とし、市域を越えて広域的な視野で課題を捉え、連携して多摩地域の魅力向上に取り組んでいる。			
協働のパートナー	多摩川流域連携会議 (大田区,世田谷区,八王子市,府中市,調布市,日野市,狛江市,多摩市,稲城市,川崎市,町田市)		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 自治体間連携
			関連施策※ 01災害に強いまちづくり 17魅力ある観光の振興 27水と緑による快適空間づくり
役割分担	パートナーの役割	課題の共有・検討, 連携イベントの情報交換・情報共有	
	市の役割	課題の共有・検討, 連携イベントの情報交換・情報共有, 会議の運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 会議の立ち上げ以来, 各自治体の取組で連携することでより効果・効率的な取組を検討・実施するほか, 新たな自治体の参加も得るなど連携を広げながら定期的・継続的に開催している。		
協働したことによる成果			
令和3年度の会議（2回）では、共通課題について意見交換を行ったほか、広域的な検討課題について継続的に連携・情報交換の場を設けたことで、他業務においてもその連携を活かすことができた。			
協働に当たった課題と対応			
引き続き民間事業者やNPO法人等、多様な主体との連携拡大を図ることで、より広域的な行政課題の解決につながるよう会議の継続的・発展的運営について検討していく必要がある。			

協働事業名	地域活性化包括連携協定による取組	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	地域活性化包括連携協定による取組	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市と事業者が相互に連携し、協働による取組を推進することで、地域や暮らしの安全・安心、地域防災・災害対策、地産地消と市産品の販路拡大、地域の活性化、市政情報及び観光情報の発信、高齢者・障害者の支援、子ども・青少年の育成、食育・健康増進、環境保全・リサイクルに関する取組など、更なる市民の安全・安心の確保や市民サービスの向上を図るため、株式会社セブン・イレブン・ジャパン及び株式会社イトーヨーカ堂と地域活性化包括連携協定を締結（平成30年4月18日）した。			
協働のパートナー	株式会社セブン・イレブン・ジャパン及び株式会社イトーヨーカ堂		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習, 観光・労働, 福祉等
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営, 広報, 参加者募集	
	市の役割	事業の企画, 情報提供, 広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 物販・飲食サービスに留まらず、公共料金の収納や証明書等の発行、いわゆるコンビニ交付など公共サービスの一端を担い、地域貢献に資する取組を展開する事業者と相互に連携し、協働による取組を推進することで、更なる市民サービスの向上に寄与することが期待される。		
協働したことによる成果			
市と事業者が相互に連携し、協働による取組を推進することで高齢者等の見守り活動、イベント等に係る広報協力、福祉作業所による生製品の店舗販売など、更なる市民の安全・安心の確保や市民サービスの向上につなげることができた。			
協働に当たった課題と対応			
令和3年度は連携会議を1回開催した。今年度は、協定締結の取組の実効性を高めるため、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、オンラインでの開催を検討するなど、定期的に協議の場である連携会議を開催し、連携事業の調整及び見直しを図っていく。併せて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を踏まえた連携事業を展開していく必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	包括的パートナーシップに関する協定による取組	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	包括的パートナーシップに関する協定による取組	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布のまちの持続的な発展と社会的課題の解決に向けて、それぞれの保有する特性・資源・ノウハウ等を生かしながら、これまで以上に幅広く多様な分野において連携・協働し、地域の活性化と市民サービスの向上、社会的価値の創出に取り組むことを目的として、アフラック生命保険株式会社と令和元年8月5日に包括的パートナーシップ協定を締結した。			
協働のパートナー	アフラック生命保険株式会社		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習、観光・労働、福祉等
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	事業の企画、情報提供、広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 市と事業者は、2010年に「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定」を締結したほか、スポーツ・文化振興、障害者支援、教育、子育て支援など様々な分野の連携・協力事業を通して協力関係を培ってきた。		
協働したことによる成果			
多岐にわたる協定事項に関する情報共有・意見交換の場を設けるなど、両者の具体的な連携・協力につなげることができた。引き続き、本協定に基づく定期的な協議を行い、地域の街づくりの推進・地域の活性化を核とする企業・団体等の多様な主体との広域的な連携も追求するとともに、国や東京都の施策との連携も図りながら調布市、さらには多摩地域の振興にもつながるよう取り組みを推進する。			
協働に当たっての課題と対応			
協定締結による取組の実効性を一層高めていくため、定期的・継続的に協議の場を設け、連携事業の調整及び見直しを図っていく必要がある。			

協働事業名	調布市で考える、未来のまちづくりー課題解決型ワークショップー	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	総合計画等の策定・推進事務	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
大学生を対象に、オンライン形式により、未来の調布を考えるワークショップを開催した。テーマ毎に三つのチームに分かれ、2回にわたり調布市の課題の整理や課題解決に向けたアイデアを考察し、プレゼンテーションを行った。（第1回（グループワーク）：令和3年12月4日、第2回（プレゼンテーション）：12月18日）市内在住・在学の大学生10人が参加。			
協働のパートナー	アフラック生命保険株式会社		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 施策13、行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	企画立案、参加者募集、オンライン手法運営	
	市の役割	資料作成、職員参加	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 パートナーから本事業に関する企画提案があり、市は市政に関する概要資料の作成や説明や、グループワークにおける各チームのファシリテーターを務めるなど、事業協力をを行った。		
協働したことによる成果			
パートナーによるオンライン手法の活用により、円滑にワークショップを実施できたことから、その後の市の事業におけるワークショップ活用に関して大きな成果を得ることができた。			
協働に当たっての課題と対応			
オンライン手法の活用やファシリテートに関しては、技術の習熟や環境整備が必要となる。また、参加者の募集については、余裕を持って応募期間を設定し、あらゆる媒体でなるべく早めに広報することが必要である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布スマートシティ協議会	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	調布スマートシティ協議会	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
令和3年6月に、産学官民の連携の下、デジタル技術を活用し、市民生活の豊かさや利便性の向上、地域の活性化につながる新たなサービスや事業の創出等を通じて、市が抱える社会的課題の解決を図ることを目的として「調布スマートシティ協議会」を設立。当初は4団体だったが、その後、6団体が参加し、計10団体となった。社会的課題の解決と新たなサービスなどによる経済的価値の創出を両立することにより、持続可能な取組としていくことを目指す「共有価値創造型スマートシティ」を団体のコンセプトとしている。			
協働のパートナー	国立大学法人電気通信大学、特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム(CLIC)、アフラック生命保険株式会社、京王電鉄株式会社、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)、日本郵便株式会社、鹿島建設株式会社 鹿島技術研究所、多摩信用金庫、株式会社東京スタジアム	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	産学官民連携、デジタル
役割分担	パートナーの役割	課題の共有・検討、事業の企画・運営、広報	
	市の役割	課題の共有・検討、事業の企画、情報提供	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 令和2年以降、スマートシティの取組に向けた協議を開始し、令和3年6月に調布市、電通大、CLIC、アフラック、京王電鉄の4者で協議会を設立。その後6者が参加。		
協働したことによる成果			
令和3年度は、会員の追加や会の安定運営に向けた体制整備を行うとともに、調布市・電通大・アフラックによる「CDC運動(つながり創出による高齢者の健康増進事業)」を実施。また、電通大が中心となり駅前商店街の店舗や集団ワクチン接種会場にCO <sub>2</sub> センサーを設置し、3密状態の見える化の実証を行った。併せて、10月のデジタルの日に合わせて、協議会内のイベント『「スマートな街：調布について考えよう！」～調布発：デジタル社会の“人に優しい#コミュニケーション”～』を開催した。3月末には幹事団体の経営幹部に参加いただき「経営幹部会議」を開催し、活動内容を報告した。			
協働に当たっての課題と対応			
会員間の合意形成に時間を要するところがあることから、定期的・継続的に協議の場を設け、産学官民連携ならではの取組の実効性を高めていく。			

協働事業名	調布市総合計画策定産学官連携会議	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	総合計画等の策定・推進事務	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
令和5年度を初年度とする新たな総合計画（基本構想・基本計画）の策定に向け、市を取り巻く環境の変化や多様化・複雑化する社会的な課題を的確に捉え、市内に事業所等を有する企業・大学等が有する知見やノウハウ等を生かしながら、市における課題解決に向けた検討を行うために令和3年8月に設置。令和3年度は全5回の会議を通じて検討を進めた。			
協働のパートナー	国立大学法人電気通信大学・特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム(CLIC)・アフラック生命保険株式会社・京王電鉄株式会社・東日本電信電話株式会社(NTT東日本)	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	産学官民連携
役割分担	パートナーの役割	基本計画への提案	
	市の役割	情報提供	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 令和3年7月時点で調布スマートシティ協議会の会員であった電通大・CLIC・アフラック・京王電鉄と、入会が決定していたNTT東日本を委員として組成した。		
協働したことによる成果			
「調布市の強み・弱み」について議論するとともに、「産学官の連携での取組」「クラウドファンディング/ネーミングライツ」「業務の効率化」「ダイバーシティ」などについて、パートナーの事例を紹介していただき、3月末に行った第5回目の会議で取りまとめを行った。			
協働に当たっての課題と対応			
基本計画策定に当たり、多様な主体と連携し、多角的な視点からの考え方を取り入れるため、産学官連携会議を設置した。引き続き、助言・提案をいただきながら、各パートナーと連携していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	デジタル化に対応した食育の推進	所管部課名	行政経営部 企画経営課 教育部 学務課
事務事業名	小学校給食の推進	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東日本電信電話株式会社（NTT東日本）は、市内にある中央研修センターにて、ローカル5Gの有効性を検証する事例の1つとして、農業用ロボットの機体制御・映像伝送によるトマトの栽培に取り組んでいる。最先端農業ハウスで栽培されるトマトを市立学校の給食食材として活用するとともに、トマト栽培の取組を、児童が給食の時間にタブレット等を活用しながら、動画で視聴した。			
協働のパートナー	東日本電信電話株式会社、株式会社NTTアグリテクノロジー、市立学校		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 教育、デジタル
	関連施策※		
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報	
	市の役割	事業協力、広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 調布スマートシティ協議会等で連携する東日本電信電話株式会社から提案があり、食育の推進を図るために実施した。		
協働したことによる成果			
市内で生産される地場野菜を給食食材として活用することで、学校給食を通じた地産地消の取組を推進することができた。また、地域における最先端技術を生かした取組について、タブレット等を活用して学ぶ機会を創出することで、デジタル化に対応した食育を推進することができた。			
協働に当たった課題と対応			
東日本電信電話株式会社の中央研修センターでは、トマトの栽培以外にも、様々な先端技術を実証しており、今後も、連携しながら、デジタル技術を活用した取組を検討していく。			

協働事業名	eスポーツ体験交流会	所管部課名	行政経営部 企画経営課 福祉健康部 高齢者支援室
事務事業名	高齢者健康づくりの推進	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布スマートシティ協議会等で連携する東日本電信電話株式会社（NTT東日本）と連携し、多世代交流の促進と介護予防・フレイル予防の一つのツールとして、eスポーツを活用したイベントを実施した。当日は、しばさき彩ステーションを主会場とし、副会場である文化会館たづくりをオンラインで接続し、準備体操に始まり、eスポーツの体験及びチーム対抗戦等を実施した。			
協働のパートナー	東日本電信電話株式会社、株式会社NTT-eSports、しばさき彩ステーション		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 福祉、デジタル
	関連施策※		
役割分担	パートナーの役割	事業の運営	
	市の役割	参加者の募集、広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 調布スマートシティ協議会等で連携する東日本電信電話株式会社からeスポーツの活用について提案があり、多世代の交流等を目的に実施した。		
協働したことによる成果			
当日は、小学生から高齢者まで多様な世代の方に参加していただいたことにより、コロナ禍であっても、eスポーツを通じて、高齢者の社会参加の機会を創出するとともに、世代を超えた交流を図ることができた。			
協働に当たった課題と対応			
今回のイベントは試行的に実施したため、事業の継続に当たっては、パートナーと役割分担を話し合っていく必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	声の広報	所管部課名	行政経営部 広報課
事務事業名	市政情報の提供	電話番号	042-481-7302
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市報定例号及び新春号の年24回分（1回につき約8本）をボランティアの協力によりカセットテープに録音し、視覚障害者等の希望者に郵送配布している。			
協働のパートナー	特定非営利活動法人 調布市民放送局, 東京YWCA国領 こだまグループ		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 福祉
			関連施策※ 行革プラン4
役割分担	パートナーの役割	市が指定した市報の内容をカセットテープに録音	
	市の役割	録音する市報記事の選定、カセットテープの複製・送付	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 視覚障害者等に適切に市政情報を伝えられるよう、読み上げる項目について市とパートナーで協議しながら継続している。		
協働したことによる成果			
地域情報を発信することを目的に活動するNPO法人や、障がいのある人もない人も、幼児から高齢の方まで「共に生きる」ことをテーマとし活動している団体に協力していただいている。本取組が各パートナーの活動目的にも合致するとともに、市としても市報の内容を紙媒体以外で提供し、視覚障害者等にも適切に市政情報を伝えることができた。			
協働に当たっての課題と対応			
利用者からカセットテープを再生する機器が自宅にない利用できないとの意見や録音する機器の劣化があるため、プレイヤーやアプリなどカセットテープ以外の手法等を検討する必要がある。新型コロナウイルス感染症の感染対策をしながら、継続する方法を引き続き、検討する必要がある。			

協働事業名	調布・狛江の魅力PR部	所管部課名	行政経営部 広報課
事務事業名	調布・狛江の魅力PR部	電話番号	042-481-7302
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
SNSを活用した若年層に向けた市の魅力発信の質を向上させることを目的に、大学生が取材・執筆した内容を市の広報媒体（市報・市ホームページ・SNS）で発信した。市報令和4年3月20日号では、「PR部がご提案 春サイクリングのススメ」と題し、大学生がおすすめするサイクリングコースやお店を取材に基づき紹介した。 ※本事業は、狛江市との協働事業「インフルエンサーを活用した市の魅力発信事業」の一環で実施			
協働のパートナー	調布市又は狛江市に在住・在勤の大学生		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 広報、観光等
			関連施策※
役割分担	パートナーの役割	内容提案、検討、取材、原稿執筆	
	市の役割	内容提案、検討、取材調整、原稿確認、発信	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 SNSを活用した市の魅力発信等について、SNSを利用している当事者である若者の意見を取り入れるため、市の広報担当者との意見交換を実施し、市の魅力発信の質の向上に寄与することが期待される。		
協働したことによる成果			
若年層の市への愛着形成が課題となる中、大学生のアイデアを活用することで、よりターゲットに適した魅力発信が可能となった。また、参加した大学生にとっては、市の広報活動を体験することで、地域社会や公務員という職業に関して考えを深める機会となった。			
協働に当たっての課題と対応			
コロナ禍において取材活動が制限されたため、感染症対策を行いながら可能な範囲で、今後も継続して実施する。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布地域情報化推進協議会の運営	所管部課名	行政経営部 デジタル行政推進課
事務事業名	地域情報化基本計画推進事業	電話番号	042-441-6117
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市民・事業者・教育機関等が今後の地域情報化について自由に議論し、情報提供、意見交換を行う「議論の場」として「調布地域情報化推進協議会」を開催している。令和3年度は、デジタル社会を実現するうえでの課題である、行政のデジタル化及び高齢者のデジタルディバイド解消に関する報告会の開催を支援した。			
協働のパートナー	NPO法人調布市地域情報化コンソーシアム		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	地域情報化における市民向けの事業の企画・立案等	
	市の役割	会場用意、庁内周知等	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 調布市地域情報化基本計画の趣旨に基づき実施している。		
協働したことによる成果			
地域情報化基本計画の考え方に沿って調布市の地域情報化は、これまで「市民の手による」ことをテーマとして進めてきたことから、市民の主体性を尊重し、地域情報化の取組について活発な意見交換をすることができた。また、令和3年度は高齢者のデジタルディバイド解消に関する報告会を実施したことにより、スマホ講習会の実施団体もっているノウハウの共有を今後図っていくとする動きがみられた。			
協働に当たった課題と対応			
情報化社会の進展に伴い、市民等の「地域情報化」に対する考え方が多様化する中、取組を決定するうえで合意形成に時間を要することが多くなっている。また、デジタルディバイド対策におけるスマホ講習会では、実施団体もっているノウハウの共有をどのように図っていくかが課題である。			

協働事業名	ICT東京フォーラム2021	所管部課名	行政経営部 デジタル行政推進課
事務事業名	地域情報化基本計画推進事業	電話番号	042-441-6117
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
関東ICT推進NPO連絡協議会の主催で講演会（「ICT東京フォーラム2021 デジタル社会における地域情報化の現状と課題」）を総務省関東総合通信局、電気通信大学とともに共催し、開催した。			
協働のパートナー	関東ICT推進NPO連絡協議会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・立案等	
	市の役割	庁内周知等	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 昨年度同様コロナ禍における開催のため、オンライン会議となったが、昨年度の経験を活かし円滑に実施できた。		
協働したことによる成果			
定員100名を超える参加希望があり、コロナ禍における行政、医療活動、企業活動、社会活動などでの我が国のデジタル化の遅れが顕在化したことで、地域のICT活用という面でも地域情報化への関心が高まる中、この問題に焦点を当てたフォーラムをオンラインにて円滑に開催することができた。東京都のデジタル化を推進している宮坂副知事の講演をはじめ、各分野を担う方々の講演と事例紹介、パネル討論の内容は、参加者から高い評価が得られた。参加者からはデジタル化への理解度向上に役立ったこと、同テーマでの再度の開催希望などがあった。			
協働に当たった課題と対応			
地域情報化への関心が高まる中、昨年と同様に定員100名の枠を超える申込みがあり、定員数の増加を検討する余地がある。また、参加者において20代の若年層が少ないため、若年層が積極的に参加できるような仕掛け作りや周知方法の改善が必要と考える。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



# 総務部

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
13	地域防災体制の充実	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	防災市民組織	総合防災安全課
14	令和3年度シェイクアウト訓練	事業協力	「災害時における放送等に関する協定」締結団体	総合防災安全課
15	令和3年度調布市総合水防訓練	事業協力	「災害時における各種協定」締結団体	総合防災安全課
16	令和3年度避難所開設訓練	事業協力	自治会, 地区協議会, NPO法人調布心身障害児・者親の会	総合防災安全課
17	令和3年度調布市総合防災訓練	事業協力	災害に関する協定締結団体, 自治会, 地区協議会	総合防災安全課
18	令和3年度東京都・調布市合同帰宅困難者対策訓練	事業協力	調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会	総合防災安全課

協働事業名	地域防災体制の充実	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	防災市民組織の育成	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>防災市民組織の育成及び充実を図り、市民の防災意識の高揚と市民生活の安全確保を図るため、次の事業を行う。          ①防災市民組織に対する補助金の交付 ②東京都主催の防災市民組織リーダー講習会への参加 ③防災市民組織説明会の実施 ④          防災に関する出前講座 ⑤防災講演会 ⑥立川防災館体験学習会 ⑦総合防災訓練等の各種訓練</p>			
協働のパートナー	防災市民組織		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	災害発生時の体制づくり、防災用品の備蓄物資等の充実、啓発活動	
	市の役割	補助金の交付、防災講演会や出前講座での防災意識の啓発	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 防災市民組織の活動を市が補助することで、より効果・効率的な訓練の実施及び資機材の購入等、市としての防災力が向上している。		
協働したことによる成果			
<p>令和3年度においては、3組織の新規結成があり、120組織から補助金の申請があった。組織での訓練実施や補助金を使用しての資機材の購入等により、地域防災力の向上につなげることができた。          また、東京都主催の防災市民組織リーダー講習会では、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン形式での実施であったものの、14組織が参加し、防災に関する知識・技術の習得を行うことができた。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>防災は地域での自助・共助が欠かせないが、自治会等の組織に属していない市民への啓発としての講演会や訓練を行い、災害発生時の体制づくりに多くの市民が携わる意識啓発に取り組んでいる。</p>			

協働事業名	令和3年度シェイクアウト訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	シェイクアウト訓練	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>シェイクアウト訓練とは、大勢が一斉に参加する防災訓練であり、参加者は同じ日時に屋内にいれば机等の下に身を隠し、屋外では身を低くしてかばん等で頭を守る行動を起こすもの。市は、震災時に、第一にわが身を守る行動を市民に身につけていただくとともに、市内で一斉かつ一体となって取り組むことにより、防災・減災意識の高揚を図ることを目的として、「災害時における放送等に関する協定」締結事業者の協力の下、訓練を実施した。</p>			
協働のパートナー	「災害時における放送等に関する協定」締結団体（調布FM放送、J：COM）		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	シェイクアウト訓練内容の放送	
	市の役割	事業企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 防災訓練は継続することが重要である。市民や事業所に参加していただけるよう創意工夫する。		
協働したことによる成果			
<p>実災害時にも調布FM放送やJ：COM等の協力により災害情報について放送するが、事前にシュミレートできたことで相互間でイメージ共有が図れた。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>災害の程度・種別により異なるものの、放送内容等事前に確認・調整の必要がある項目について引き続き検討していく。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	令和3年度調布市総合水防訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	調布市総合水防訓練	電話番号	042-481-7348
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
大型台風の接近や集中豪雨に伴う河川の氾濫等の被害を想定し、実践的な水防活動技術の習得、水防関係機関等との連携による機動的な対策を実施し、水災による被害の軽減を図る。			
協働のパートナー	「災害時における各種協定」締結団体		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練及び会議への参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 各協定団体で連携し、訓練を行うことで、災害時においても、効率的に活動が行えるようになるため実施している。		
協働したことによる成果			
実際の災害時においても円滑に水防活動を行えるよう、水害時における相互の活動体制を訓練の中で情報共有することで確認することができた。			
協働に当たっての課題と対応			
今後も市の災害対応能力を高めるため、自治体や事業所等、多様な機関と積極的に協定を結び、適宜連携していくことが重要である。庁内横断的な連携により、他部署における各種団体の情報や連携した取組の情報を共有し、各種団体等の活動状況を的確に把握していく。			

協働事業名	令和3年度避難所開設訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	避難所開設訓練	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
台風や集中豪雨等の影響を受けやすい時期を見据え、風水害を前提とした避難所の開設・運営訓練を実施する。			
協働のパートナー	自治会、地区協議会、NPO法人調布心身障害児・者親の会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練の参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 実際の災害時に職員と共に避難所を運営していただく地区協議会等と協働による訓練を実施し、避難所の開設手順等を共有するために実施を開始した。		
協働したことによる成果			
実際の災害時においても円滑に避難所運営を行えるよう、避難所の開設、運営手順について情報共有することができた。また、要配慮者移送のための避難バスの運行及び避難所での受入訓練を実施し、避難バスの運行要領を作成した。			
協働に当たっての課題と対応			
今後も市の災害対応能力を高めるため、継続的に地域等と連携した訓練を実施していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	令和3年度調布市総合防災訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	調布市総合防災訓練	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
いつ起こるかわからない震災に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域での互助精神の高揚と防災行動力の向上を図るとともに防災関係機関との連携を強化し、災害時の迅速な応急活動態勢を整えるために、医療やボランティア、放送、建設業、ライフライン等、災害時における様々な分野に関する協定を締結している、各種協定締結団体の協力の下、調布市総合防災訓練の実施に向けて調整を行った。			
協働のパートナー	災害に関する協定締結団体、自治会、地区協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練及び会議への参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 各協定団体と連携し、訓練を行うことで、災害時においても、効率的に活動が行えるため実施している。		
協働したことによる成果			
実際の災害時においても円滑に活動を行えるよう、災害時における相互の活動体制を訓練及び会議の中で情報共有することで確認することができた。			
協働に当たった課題と対応			
今後も市の災害対応能力を高めるため、自治体や事業所等、多様な機関と積極的に協定を結び、適宜連携していくことが重要である。庁内横断的な連携により、他部署における各種団体の情報や連携した取組の情報とを共有し、各種団体等の活動状況を的確に把握していく。			

協働事業名	令和3年度東京都・調布市合同帰宅困難者対策訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	帰宅困難者対策訓練	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
【訓練目的】 東京都多摩地域を震源とする首都直下地震により、調布駅周辺にも多数の帰宅困難者が発生したとの想定で、東京都・市・調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会の各防災関係機関が連携して駅周辺の混乱防止や安全確保に取り組み、災害対応力の向上に努める。 【主な訓練内容】 トランシーバー等を用いた、発災時における協議会内及び調布市との通信訓練及び誘導訓練等			
協働のパートナー	調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練及び会議への参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 大規模な地震その他の災害により調布駅周辺の公共交通機能等が損なわれた場合における帰宅困難者等対策について、都・市・調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会で連携を図り、帰宅困難者発生時の対応について共有するために訓練を実施した。		
協働したことによる成果			
調布駅周辺帰宅困難者等対策協議会においては、昨年度コロナの影響で開催できなかったため、令和3年度の実施により協議会員の帰宅困難者対策への意識の向上につなげることができた。また、訓練をとおして、地震発生から一時滞在施設開設の流れ、トランシーバーの操作方法等について確認し、帰宅困難者発生時の対応についてイメージを共有することができた。			
協働に当たった課題と対応			
今後も市の災害対応能力を高めるため、協議会を継続的に実施して帰宅困難者対策への協議を図り、訓練を実施していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

# 市民部

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
19	「中学生の税についての作文」の表彰	事業協力	武蔵府中納税貯蓄組合連合会	納税課
20	人権啓発協働事業	事業協力, 情報交換, 情報提供	調布市人権擁護委員	市民相談課

協働事業名	「中学生の税についての作文」表彰	所管部課名	市民部 納税課	
事務事業名	収納事務	電話番号	042-481-7214	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>租税教育推進活動の一環として、納税貯蓄組合連合会が毎年実施している中学生を対象とした「税についての作文」の作品募集と連携し、市内中学生の「税についての作文」の市長賞及び教育長賞の表彰をしている。表彰式には、同組合が来賓として出席をしている。</p> <p>※納税貯蓄組合連合会は、納税貯蓄組合法に基づき、税の納期内完納達成のための納税資金備蓄を直接の目的として設立されている団体で、税の広報活動も推進している。</p>				
協働のパートナー	武蔵府中納税貯蓄組合連合会		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	子ども
			関連施策※	行革プラン32
役割分担	パートナーの役割	中学生に対して、「税についての作文」作品募集		
	市の役割	中学生に対して、「税についての作文」表彰		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 中学生が税について考える機会として捉え、継続して実施している。			
協働したことによる成果				
<p>納税貯蓄組合連合会が募集する中学生の「税についての作文」は、将来を担う中学生が、身近に感じた税や学校で学んだ税、また、テレビや新聞などで知った税を素材として作文を書くことにより、税について関心を持ち、正しく理解してもらうことを目的として実施している。また、作品募集にとどまらず、市が独自で表彰を行い、顕彰することにより、中学生に作文を通して、税について考える気運の醸成につなげている。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>中学生やその家族をはじめとする市民全般に税についての関心・理解を促進していく。</p> <p>また、納税貯蓄組合連合会の事務局を担う武蔵府中税務署と適切な事務分担を引き続き調整するとともに、事務の効率化を図っていく。</p>				

協働事業名	人権啓発協働事業	所管部課名	市民部 市民相談課	
事務事業名	人権教育・啓発事業の推進	電話番号	042-481-7033	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>法務大臣から委嘱を受けた調布市の8名の人権擁護委員は、主に人権相談、人権侵犯に関する調査・救済活動、人権啓発活動を行っている。特に小学生・中学生を対象とした人権啓発活動には力を入れており、市は委員の活動支援を行った。</p>				
協働のパートナー	調布市人権擁護委員		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	人権啓発
			関連施策※	31人権の尊重・男女協働参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	事業の調整、連携イベントの情報交換・情報共有、会議の運営協力		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 昭和24年の人権擁護委員法が制定され、各種人権啓発事業の協力をを行っている。			
協働したことによる成果				
<p>人権擁護委員の活動支援など、各種事業を展開したことにより、人権教育・啓発事業の参加者数は、中学生人権作文参加者1,499人、小学生子どもたちからの人権メッセージ参加者313人、人権の花運動実施校児童数979人、合計2,791人となり、引き続き各事業の実施と参加の呼び掛けを協力することで、広く市民や子どもたちに対し、人権に関する教育・啓発ができた。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>当市の人権啓発活動は、子どもたちへの活動が中心で、成人に改めて人権の大切さの理解を深めてもらうことは、大変難しい取り組みと考えている。一人でも多くの市民に人権意識が浸透するよう人権擁護委員と一緒に考え、今後の啓発活動の支援を行っている。</p>				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

# 生活文化スポーツ部

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
21	府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル2021	実行委員会	ラグビーフェスティバル実行委員会、東京サントリーサンゴリアス	オリンピック・パラリンピック担当
22	東京2020オリンピック聖火リレー	実行委員会、事業協力	東京都聖火リレー実行委員会、東京2020組織委員会、深大寺、市内音楽大学、調布リトルリーグ・リトルシニア	オリンピック・パラリンピック担当
23	東京2020パラリンピック聖火リレー	実行委員会、事業協力	東京都聖火リレー実行委員会、東京2020組織委員会、深大寺、FC東京あおぞらサッカースクール、調布市福祉作業所等連絡会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
24	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会	事業協力、情報交換・情報提供	東京都、東京2020組織委員会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
25	応援LIVEイベント in 調布(東京2020公認プログラム)	事業協力	東京2020組織委員会、東京フットボールクラブ株式会社、NTT東日本バドミントン部、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスほか	オリンピック・パラリンピック担当
26	オンライントークイベント2021 in Chofu	事業協力	東京フットボールクラブ株式会社、NTT東日本バドミントン部、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、調布よさこい実行委員会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
27	サウジアラビア応援DAYS	共催、事業協力	内閣官房、岩手県大槌町、愛媛県新居浜市、サウジアラビア大使館文化部、調布市サウディアラビア友好会、調布市国際交流協会ほか	オリンピック・パラリンピック担当
28	東京都市町村ポッチャ大会	共催、実行委員会、事業協力	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会、特定非営利活動法人調和SHC倶楽部、調布市スポーツ推進委員会	オリンピック・パラリンピック担当
29	「ラガマルくんのラグビーセブンスガイドブック」の発行	実行委員会、事業協力	ラグビーフェスティバル実行委員会、ラガマルくん	オリンピック・パラリンピック担当
30	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コース体験イベント「東京8市 Smile Road Project」	実行委員会、事業協力	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会	オリンピック・パラリンピック担当
31	東京2020大会を契機とした市庁舎装飾に関する取組	事業協力、指定管理・業務委託	東京フットボールクラブ株式会社、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、調布企画組、角川大映スタジオ、水木プロ、茂本ヒデキチ、日本車いすバスケットボール連盟	オリンピック・パラリンピック担当
32	「スポーツ×共生社会」オンラインシンポジウム	事業協力、指定管理・業務委託	東京フットボールクラブ株式会社、株式会社HIRAKU、株式会社つなひろワールド、日本ブラインドサッカー協会	オリンピック・パラリンピック担当
33	東芝・サントリー市民招待事業	実行委員会、事業協力	ラグビーフェスティバル実行委員会、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス	オリンピック・パラリンピック担当
34	市民団体等との連携による平和祈念事業の開催	共催、事業協力、指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット、FC東京、株式会社タキオンジャパン、調布市原爆被害者の会、調布平和のつどい実行委員会	文化生涯学習課

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
35	国際交流事業の実施	共催, 補助・助成, 指定管理・業務委託	調布市国際交流協会	文化生涯学習課
36	「パラハートちょうふ」の推進(調布市パラアート展2021)	共催	調布市福祉作業所等連絡会	文化生涯学習課
37	市民との連携による生涯学習のきっかけづくり	事業協力	地域デビュー推進委員会, 各生涯学習サークル	文化生涯学習課
38	「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」関連事業団体との連携	共催, 事業協力	調布市文化協会ほか	文化生涯学習課
39	フードドライブの実施	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市消費者団体連合会, 調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会, 市内協力事業者	文化生涯学習課
40	食品ロス削減に向けた取組	事業協力	ニチバン株式会社	文化生涯学習課
41	消費生活講座	共催	東京都	文化生涯学習課
42	調布市文化・コミュニティ振興財団との連携	共催, 指定管理・業務委託	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	文化生涯学習課
43	相互友好協力協定締結大学定例会	事業協力, 情報交換・情報提供	相互友好協力協定締結大学	文化生涯学習課
44	相互友好協力協定締結大学との連携	共催, 事業協力	相互友好協力協定締結大学(電気通信大学)	文化生涯学習課
45	ちょうふ地域コミュニティサイトの運用	指定管理・業務委託	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	協働推進課
46	ふれあいの家の管理運営	指定管理・業務委託	ふれあいの家運営委員会(18施設)	協働推進課
47	コミュニティ推進事業	補助・助成	調布市自治会連合協議会, 各地区協議会	協働推進課
48	自治会といっしょに！キャンペーン	事業協力	調布市自治会連合協議会	協働推進課
49	市民活動支援センターの運営	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	協働推進課
50	いやしとふれあいの旅事業(宿泊料金の割引, 調布発着のバスツアー)	事業協力, 情報交換・情報提供	京王観光株式会社, さくらツアーリスト株式会社	協働推進課
51	調布まち活フェスタ	実行委員会, 事業協力	まち活フェスタ実行委員, 調布市市民活動支援センター	協働推進課
52	男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」の開催	共催	男女共同参画推進フォーラム実行委員会	男女共同参画推進課
53	女性の「キャリア研究」についての講演	事業協力	白百合女子大学	男女共同参画推進課

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
54	女性のための起業セミナー	共催	日本政策金融公庫, 多摩信用金庫	男女共同参画推進課
55	市内映画・映像関連企業や市民団体等と連携した「映画のまち調布」の推進	共催, 実行委員会, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	角川大映スタジオ, 日活調布撮影所, 子どもたちと映画寺子屋, NPO法人調布シネマクラブ…他	産業振興課
56	商店街活性化の推進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	市内商店会, 市内事業者, 調布市商工会, 調布駅前商店街	産業振興課
57	商工会事業の支援	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市商工会	産業振興課
58	調布駅前から盛り上げる会	実行委員会, 事業協力, 情報交換・情報提供	調布駅前から盛り上げる会(調布駅前商店街, 京王電鉄株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市商工会, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団…他)	産業振興課
59	観光協会事業の促進	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市観光協会	産業振興課
60	「水木マンガの生まれた街 調布」の推進	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	株式会社水木プロダクション, 鳥取県, 境港市, 東映アニメーション株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市観光協会…他	産業振興課
61	ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業(調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定)	事業協力	一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団	産業振興課
62	就労支援セミナー等の開催	共催	ハローワーク府中, 厚労省東京労働局, 公益財団法人東京しごと財団東京しごとセンター多摩, 東京都産業労働局	産業振興課
63	金融機関との連携による民間ノウハウを活用した中小企業支援事業	事業協力	多摩信用金庫, 三井住友銀行, りそな銀行, みずほ銀行及びみずほ信託銀行, 西武信用金庫	産業振興課
64	令和3年度調布市農産物品評会	事業協力	調布市農業まつり実行委員会	農政課
65	調布市体育協会事業の支援	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	公益社団法人調布市体育協会	スポーツ振興課
66	FC東京による地域貢献活動支援	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	東京フットボールクラブ株式会社	スポーツ振興課
67	第4回調布市小学生タグラグビー大会	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	調布市ラグビーフットボール協会, 東芝プレイブルーパス東京	スポーツ振興課
68	調布市障害者スポーツ体験会	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	武蔵野の森総合スポーツプラザ, (公社)東京都障害者スポーツ協会, (一社)日本車いすバスケットボール連盟, (特非)日本ブラインドサッカー協会, FC東京, 調布市スポーツ推進委員会	スポーツ振興課
69	調布市障害者スポーツの振興における協議体	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市体育協会, 調布市スポーツ推進委員会, 調和SHC倶楽部, 調布市作業所等連絡会, 地域生活支援センター, 調布市社会福祉協議会, 調布市社会福祉事業団, 東京都, 東京都障害者スポーツ協会	スポーツ振興課

## 令和3年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
70	NTT東日本バドミントン部との連携事業	事業協力	NTT東日本バドミントン部	スポーツ振興課
71	調布市ニュースポーツ交流会	事業協力	調布市スポーツ推進委員会	スポーツ振興課

協働事業名	府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル2021	所管部課名	生活文化スポーツ部 ラグビィック・パワリビィック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
令和3年4月に東京サントリーサンゴリアス、東芝ブルーパス東京と連携協定を締結した味の素スタジアムの近隣自治体（調布市・府中市・三鷹市）が連携し、ラグビー新リーグのリーグワン開幕に向けた機運醸成とラグビー競技の普及啓発を目的に、今年で6年目となるラグビーフェスティバルを開催した。イベントでは、東京サントリーサンゴリアス 対 豊田自動織機シャトルズ愛知のトレーニングマッチをはじめ、東京サントリーサンゴリアスの選手、スタッフ等によるトークショー、ラグビー応援アンバサダー@調布のラガマルくんによるグリーティングを実施した。			
協働のパートナー	ラグビーフェスティバル実行委員会 （調布市、府中市、三鷹市）、東京サントリーサンゴリアス		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 ラグビィック・パワリビィック ラグビーワールドカップ
			関連施策※ 14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、各団体のPRブース出展、広報	
	市の役割	事業の企画・運営、調布市PRブース出展、市内広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 複数の社会人ラグビーチームの活動拠点である府中市から、ラグビーワールドカップ・東京2020大会に向けて地元市で連携した機運醸成を図りたいと提案があり、イベントを開催している。		
協働したことによる成果			
ラグビーフェスティバル2021では、新型コロナウイルス感染症対策のため、各市200人の定員制として実施した。結果として、チーム関係者を含め、約700人の来場があり、3市における市民のラグビーへの高い関心を感じる事ができた。また、社会人ラグビートップリーグチームやその活動拠点である自治体等の協力により、迫力あるラグビーの試合を身近に体感する機会を設けることができるとともに、来場者に各市の取組、観光情報、3市連携によるラグビー競技普及事業をPRすることができた。			
協働に当たった課題と対応			
イベントの企画・運営をより円滑に実行できるよう、企画内容の早期決定や各主体との早期の調整などを図る必要がある。			

協働事業名	東京2020オリンピック聖火リレー	所管部課名	生活文化スポーツ部 ラグビィック・パワリビィック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020オリンピック聖火リレーは、2021年3月25日に福島県をスタートし、121日間をかけて日本全国47都道府県を巡り、15,000人以上の人々によって聖火が繋がれた。市内では、深大寺をスタートし、調布駅前広場に到着地とするルートで様々な準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公道走行が中止となった。代替として、セレブレーション会場である武蔵野陸上競技場にて点火セレモニーが開催されたほか、当初出発式に協力予定だった深大寺による声明や、市内音楽大学学生による演奏を実施し、オンラインにて配信した。			
協働のパートナー	東京都聖火リレー実行委員会、東京2020組織委員会、深大寺、市内音楽大学、調布リトルリーグ・リトルシニア		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 ラグビィック・パワリビィック
			関連施策※
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、ご出演、聖火ランナー（グループランナー）	
	市の役割	事業の企画・運営、ご出演、聖火ランナー（グループランナー）	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 東京2020大会の延期により、聖火リレーも1年延期での開催。感染症の影響により公道走行中止。		
協働したことによる成果			
東京都聖火リレー実行委員会と協働し、調布市の魅力を国内外に発信できるようなルートの設定や、各種取組の企画などを行った。結果として新型コロナウイルス感染症の影響により、公道走行は中止となったが、それまで協働してきた団体が最大限聖火リレーに関与できるようにしたことで、参加者（団体）にとって心のレガシーを創出することができた。			
協働に当たった課題と対応			
東京2020大会延期の影響で聖火リレーについても1年延期となった。この影響により、パートナーとともに進めていた市内関係者（団体）との調整についても大幅に軌道修正を迫られたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で直前まで公道走行可否について決定を待ちながらの調整となるなど、難しい状況判断が続いた。こうした状況ではあったが、様々なシナリオを踏まえた準備・調整を進めたことで、代替で開催された点火セレモニー等へも円滑に対応することができた。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	東京2020パラリンピック聖火リレー	所管部課名	生活文化スポーツ部 リレリック・パ・リレリック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020パラリンピック聖火リレーは、2021年8月12日から24日のパラリンピック開会式までの期間に開催された。市内では、西調布駅北口ロータリーをスタートし、東京スタジアム前歩道橋上を到着地とするルートで様々な準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により公道走行が中止となった。代替として、セレブレーション会場である都立砧公園にて点火セレモニーが開催されたほか、深大寺の護摩祈願の火から「調布市の火」の採火、都内集火式への参画、福祉施設をはじめとした市内18か所での聖火ピジットを実施した。			
協働のパートナー	東京都聖火リレー実行委員会、東京2020組織委員会、深大寺、FC東京あおぞらサッカースクール、調布市福祉作業所等連絡会ほか	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	リレリック・パ・リレリック
役割分担	パートナーの役割 事業の企画・運営、ご出演、聖火ランナー（グループランナー） 市の役割 事業の企画・運営・実施など	関連施策※	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 東京2020大会の延期により、聖火リレーも1年延期での開催。感染症の影響により公道走行中止。		
協働したことによる成果			
東京都聖火リレー実行委員会と協働し、調布市の魅力を国内外に発信できるようなルートの設定や、各種取組の企画などを行った。結果として新型コロナウイルス感染症の影響により、公道走行は中止となったが、それまで協働してきた団体が最大限聖火リレーに関与できるようにしたことで、参加者（団体）にとって心のレガシーを創出することができた。			
協働に当たった課題と対応			
東京2020大会延期の影響で聖火リレーについても1年延期となった。この影響により、パートナーとともに進めていた市内関係者（団体）との調整についても大幅に軌道修正を迫られたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で直前まで公道走行可否について決定を待ちながらの調整となるなど、難しい状況判断が続いた。こうした状況ではあったが、様々なシナリオを踏まえた準備・調整を進めたことで、代替で開催された点火セレモニー等へも円滑に対応することができた。			

協働事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会	所管部課名	生活文化スポーツ部 リレリック・パ・リレリック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、史上初の1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）では、市内3つの競技会場において、6競技が無観客で開催された。大会開催に向けては、円滑な開催支援、大会の機運醸成・各分野の振興、レガシー創出、多摩地域全体の振興といった視点のもと、多様な主体と連携しながら、市のまちづくりに多面的効果をもたらす取組を進めた。			
協働のパートナー	東京都、東京2020組織委員会、深大寺、調布市体育協会、調布市文化協会、調布市文化・コミュニティ振興財団、調布市観光協会、調布市商工会、調布警察署、調布消防署、自治会、地区協議会、調布市医師会ほか	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	リレリック・パ・リレリック
役割分担	パートナーの役割 大会に向けた開催支援、機運醸成、レガシー創出に向けた取組への協力など 市の役割 都や組織委員会との調整、大会に向けた開催支援、機運醸成、レガシー創出に向けた取組への協力など	関連施策※	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 夏季オリンピックは57年ぶり2度目の開催。東京は同一都市として初めて2回目の夏季パラリンピックを開催。		
協働したことによる成果			
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大会の延期や無観客開催など、困難な状況下での開催となったが、世界最高峰のアスリートの熱戦が調布から世界へ向けて発信され、全市民、とりわけ次代を担う子どもたちに大きな感動、そして夢と希望を与えてくれたものと確信している。また、大会を契機とした取組の推進に当たっては、多様な主体との連携・協働による「オール調布」で進め、様々なパートナーシップを構築した。			
協働に当たった課題と対応			
多様な主体との連携に当たっては、円滑な情報共有の体制が課題であった。こうした課題に対し、行政と市議会、市内関係団体が一丸となり、「オール調布」の視点に立った取組が進められるよう、「調布市2019-2020プロジェクト全体会議」を設置した。全体会議は行政、議会、スポーツ、文化・国際交流、産業・観光、交通、安全・安心、メディア、地域、社会福祉、教育など、各分野の関係団体が構成され、大会関連情報の共有を行った。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	応援LIVEイベント in 調布（東京2020公認プログラム）	所管部課名	生活文化スポーツ部 クリエイティブ担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020大会期間中に開催予定だったコミュニティライブサイトの代替の取組として、サッカー、ラグビー、バドミントン、パラリンピックをテーマにした動画コンテンツをオンラインにて配信した。これらは地域のプロスポーツチームや企業など多様な主体と連携して制作を行い、東京2020大会の盛り上げを図った。			
協働のパートナー	東京2020組織委員会、東京フットボールクラブ株式会社、NTT東日本バドミントン部、東芝ブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアス、日本車いすバスケットボール連盟ほか	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	クリエイティブ
役割分担	パートナーの役割 動画制作への協力など 市の役割 企画・調整、動画制作・配信など	関連施策※	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 コミュニティライブサイトの代替としての取組		
協働したことによる成果			
これまでのパートナーシップを活かし、多様な主体と連携・協働したことで、各テーマに応じた魅力ある動画コンテンツを制作することができた。制作した動画は多くの方に視聴していただき、無観客開催となった東京2020大会の盛り上げに資する取組となった。			
協働に当たった課題と対応			
コミュニティライブサイトの中止から代替取組であるオンラインイベントの配信まで2か月を切っており、非常に短期間での調整となったが、これまでのパートナーシップを基盤に、各主体と密に連携することで、短期間ながら質の高い動画コンテンツを制作することができた。			

協働事業名	オンライントークイベント2021 in Chofu	所管部課名	生活文化スポーツ部 クリエイティブ担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020大会期間中に開催予定だったコミュニティライブサイトの代替の取組として、サッカー、ラグビー、バドミントン、パラリンピック等をテーマにした動画コンテンツをオンラインにて配信した。これらは地域のプロスポーツチームや企業、地域ゆかりのアーティストなど多様な主体と連携して制作を行い、東京2020大会の盛り上げを図った。また、本コンテンツは東京2020組織委員会非公認の内容ではあったが、地域のプロスポーツチーム等の紹介や共生社会の充実に向けた取組など、幅広い視点で制作した。			
協働のパートナー	東京フットボールクラブ株式会社、NTT東日本バドミントン部、東芝ブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアス、日本車いすバスケットボール連盟ほか	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	クリエイティブ
役割分担	パートナーの役割 動画制作への協力など 市の役割 企画・調整、動画制作・配信など	関連施策※	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 コミュニティライブサイトの代替としての取組		
協働したことによる成果			
これまでのパートナーシップを活かし、多様な主体と連携・協働したことで、各テーマに応じた魅力ある動画コンテンツを制作することができた。制作した動画は多くの方に視聴していただき、無観客開催となった東京2020大会の盛り上げに資する取組となった。			
協働に当たった課題と対応			
コミュニティライブサイトの中止から代替取組であるオンラインイベントの配信まで2か月を切っており、非常に短期間での調整となったが、これまでのパートナーシップを基盤に、各主体と密に連携することで、短期間ながら質の高い動画コンテンツを制作することができた。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	サウジアラビア応援DAYS	所管部課名	生活文化スポーツ部 オリビック・パリンビック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
本事業は、内閣官房オリンピック競技・パラリンピック競技大会推進本部事務局によるオリパラ基本方針推進調査業務として実施し、サウジアラビアのホストタウンとなっている調布市、若手県大槌町、愛媛県新居浜市の3自治体連携によるサウジアラビア応援企画を配信した。また、本事業の一環として、3自治体連携によるメッセージ動画を作成した。			
協働のパートナー	内閣官房、若手県大槌町、愛媛県新居浜市、サウジアラビア大使館文化部、調布市サウディアラビア友好会、調布市国際交流協会ほか	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	オリビック・パリンビック
役割分担	パートナーの役割	全体調整（内閣官房）、動画への出演・協力など	
	市の役割	コンテンツ企画・立案、調整など	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 内閣官房オリンピック競技・パラリンピック競技大会推進本部事務局によるオリパラ基本方針推進調査業務として実施		
協働したことによる成果			
在日サウジアラビア大使館員、サウジアラビア留学生、各市町長、市町民など、様々な方々に参加していただき、サウジアラビア王国や他の自治体の魅力を知るきっかけとなった。			
協働に当たった課題と対応			
内閣官房のオリパラ基本方針推進調査業務として実施した当事業は、多くの主体の参画のもと、短期間でかつ調整はオンラインのみで行われ、各主体とのコミュニケーションが課題であった。かつ、当初は東京2020大会時に市主催で開催するイベント内での実施を検討していたものの、当イベントが中止となり、急遽方向転換をするなど、難しい状況が続いたが、各主体が精力的に調整を行い、円滑に実施することができた。			

協働事業名	東京都市町村ポッチャ大会	所管部課名	生活文化スポーツ部 オリビック・パリンビック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020大会開催を契機とした多摩地域での広域的な機運醸成・障害者スポーツ振興に向けた取組の一環として、多摩地域26市3町が実行委員会を組織し、東京都市町村ポッチャ大会を開催した。大会には各自治体が推薦した27チーム（合計95人）、大会サポーター24人が参加予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会は中止となった。			
協働のパートナー	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会、 特定非営利活動法人調和SHC倶楽部・調布市スポーツ推進委員会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	スポーツ
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、連携に関する提案・調整、出場チームの選出など	
	市の役割	事業の企画・運営協力、市内広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 多摩地域での広域的な機運醸成・障害者スポーツ振興を目的に実施した。		
協働したことによる成果			
大会は中止となったが、多摩地域の各自治体での予選開催の過程を通して、多摩地域全体でのポッチャ競技の認知度向上に寄与することができた。また、大会開催に向け準備を進めたことで、各自治体との連携・協力を一層深めることができた。			
協働に当たった課題と対応			
本事業を引続き円滑に実行できるよう、幹事市向けのマニュアルの作成が必要である。また、市長会からの補助金がなくなった場合の費用について、各自治体での費用負担が必要となるため、早期に今後の方向性を検討する必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	「ラガマルくんのラグビーセブンスガイドブック」の発行	所管部課名	生活文化スポーツ部 リビック・パブリック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 日本大会によるラグビー熱の盛り上がりや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へとつなげ、また両大会後もラグビーに対する市民意識の高揚と、新たなラグビーファン層の開拓を図るため、ラグビーフェスティバル実行委員会として、ラグビーセブンス応援グッズ「ラガマルくんのラグビーセブンスガイドブック」を作成した。ガイドブックは、東京スタジアム（味の素スタジアム）で実施される東京2020オリンピックの7人制ラグビーの気運醸成を図るため、ラグビー初心者にも分かりやすい漫画を取り入れたセブンスガイドブックを作製し、3市の小中学生やイベント時に配布を行った。			
協働のパートナー	ラグビーフェスティバル実行委員会（調布市・府中市・三鷹市）、ラガマルくん	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	リビック・パブリック
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業企画・調整、広報	
	市の役割	事業企画・調整、広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業	ラグビーフェスティバル実行委員会として、東京2020大会に向けた新規事業として実施	
協働したことによる成果			
難解なラグビー（特にセブンス）のルールを分かりやすく伝えるためのツールとしてガイドブックを作成したことで、3市の小中学生を中心に、ラグビー初心者へラグビーの魅力を伝える一助となった。また、ガイドブックには3市の取組も掲載し、PRに資する内容とすることができた。			
協働に当たった課題と対応			
ガイドブックは、企画から制作まで短期間での対応となったが、令和元年度に制作した「ラガマルくんのラグビールールブック」制作のノウハウを生かし、円滑な調整を行うことができた。			

協働事業名	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コース体験イベント「東京8市Smile Road Project」	所管部課名	生活文化スポーツ部 リビック・パブリック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
オリンピック自転車競技ロードレースにおいて、スタートから都内8市（府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市）を通過し、多摩地域を大きく横断するコースが設定されたため、都内8市が連携し、事業を実施した。事業では、自転車競技への興味関心を高め、多摩地域を通るオリンピックコースの認知度向上のため、コース沿道を自転車やランニング、ウォーキングで巡るスタンプラリーを実施し、大会へ向けた機運醸成を図った。			
協働のパートナー	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会（府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市）	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	リビック・パブリック
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営・広報等	
	市の役割	事業の広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業	8市合同連絡会としての新規事業として実施	
協働したことによる成果			
本事業では、多摩地域の魅力を発信し、観光振興を図るため、本スタンプラリーの特設ホームページを開設し、コース周辺の観光情報を掲載するとともに、アプリの地図上にも観光スポットを表示するなど、スポーツ振興のみならず、協働による副次効果をあげることができた。			
協働に当たった課題と対応			
コロナ禍での企画にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながらどのようなイベントができるか苦慮したが、集合型イベントではなく、SNSアプリを使用した内容とし、課題をクリアすることができた。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	東京2020大会を契機とした市庁舎装飾に関する取組	所管部課名	生活文化スポーツ部 オリンピック・パラリンピック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、市庁舎エレベーターや2階エントランスガラス、プランターカバー等を活用したPRを実施してきた。こうした市庁舎を活用したPRの取組については、市の魅力発信に資するデザインに変更することで、大会後もレガシーとして継続していく。			
協働のパートナー	東京フットボールクラブ株式会社、東芝プレイブルーバス東京、東京サントリオンゴリアス、調布企画組、角川大映スタジオ、水木プロ、茂本ヒデキチ、日本車いすバスケットボール連盟	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	オリンピック・パラリンピック
役割分担	パートナーの役割 素材提供、制作 市の役割 企画、調整	関連施策※	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 東京2020大会のレガシーとして市庁舎を活用したPRを行うもの		
協働したことによる成果			
市庁舎エレベーターについて、様々なパートナーと協働し、次のようなデザインへ装飾した。 1階：FC東京、2階：共生社会（パラハートちょうふ）、3階：ラグビー、4階：映画のまち調布、5階：水木マンガの生まれた街、6階：観光、7階：環境配慮、8階：車いすバスケットボール			
協働に当たった課題と対応			
パートナーが多岐にわたるなか、企画から制作まで短期間での対応となったため、全体調整が課題となった。関係部署と連携し、密に調整しながら納期を管理しつつ、速やかな校正に努めたことで、納期内に完成することができた。			

協働事業名	「スポーツ×共生社会」オンラインシンポジウム	所管部課名	生活文化スポーツ部 オリンピック・パラリンピック担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市は、東京2020大会が市内で開催されることを契機として、障害理解や障害者スポーツの振興、バリアフリー化など、だれもが快適に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくりに向け、様々な取組を進めてきた。こうした取組を「パラリンピックレガシー」として次代のまちづくりに継承し、共生社会の更なる充実を図っていくことが重要である。こうした観点から、「スポーツ×共生社会」をテーマにシンポジウムを開催し、「スポーツ」や「地域」の視点から、共生社会の充実に向けた現在地と課題について考え、東京2020大会後のまちづくりを展望するオンラインシンポジウムを開催した。			
協働のパートナー	東京フットボールクラブ株式会社、株式会社HIRAKU、有限会社つなひろワールド、日本ブラインドサッカー協会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	オリンピック・パラリンピック
役割分担	パートナーの役割 ゲスト出演に係る協力 市の役割 企画・調整・運営	関連施策※	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 東京2020大会のレガシー事業として実施		
協働したことによる成果			
東京2020大会を契機として構築・発展させてきたパートナーシップを生かし、様々なゲストに出演いただくことができた。内容としても、各ゲストの経験はもとより、東京2020大会で得た経験や学びをどのようにまちづくり生かしていくべきか、多くの示唆があり、非常に有意義なイベントとなった。			
協働に当たった課題と対応			
それぞれのゲストはいずれも様々な実績があり、高名な方だったため、限られた時間でどのような組立や問いかけにすればより濃密な内容となるかが課題であった。コーディネーターを務めていただいたFC東京の石川CCと事前に綿密な打合せを行い、イベント主旨や問いかけの意図などを共有したことで、本番ではアドリブも混ぜていただきながら、ゲストの考えを引き出すことができ、有意義な内容となった。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	東芝・サントリー市民招待事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 初光・ツバ・リビ・ツ担当
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7447 042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
令和3年4月に東京サントリーサンゴリアス、東芝プレイブルーパス東京と連携協定を締結した味の素スタジアムの近隣自治体（調布市・府中市・三鷹市）が連携し、ラグビー新リーグのリーグワン開幕に向けた機運醸成とラグビー競技の普及啓発を目的に、味の素スタジアムで行われた1月8日のジャパンラグビーリーグワン第1節東京サントリーサンゴリアスと東芝プレイブルーパス東京の府中ダービーに3市の市民を100名ずつ招待し、オリジナルタオルマフラーを作製・配布し、ラグビー全体の気運醸成を図った。			
協働のパートナー	ラグビーフェスティバル実行委員会（調布市、府中市、三鷹市）、東芝プレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報	
	市の役割	事業の企画・運営、広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 ラグビーフェスティバル実行委員会として、東京2020大会後のレガシー事業として実施		
協働したことによる成果			
3市が連携して募集を行ったことで、多くの方から申込があった（申込件数：府中市823件、調布市844件、三鷹市450件）。また、本事業にあわせ、3市連携限定デザインの応援グッズの作製・配布や、3市連携紹介パネルの展示など、連携による効果を最大限に活用した取組となった。			
協働に当たっての課題と対応			
3市連携での市民招待は初の試みであり、ホスト側である東京サントリーサンゴリアス側との調整が直前まで続いたが、本事業とりまとめの三鷹市と密に連携し、遺漏なく準備を進めることができた。			

協働事業名	市民団体等との連携による平和祈念事業の開催	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	平和祈念事業	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内の中学生を市民の代表ピースメッセンジャーとして任命し、戦争や平和についての学びの成果を広く市民へ還元することを目指した取組をNPO法人ちょうふこどもネットやFC東京の事業協力の下、実施した。調布市近隣の戦跡を巡るフィールドワーク、被爆者の手記を題材とした朗読発表、オンラインで実施された「青少年ピースフォーラム」における全国の青少年たちとの交流などを通じて、戦争・平和に関する学びを深めた。学びの成果は報告会や「原爆展」、その他市内公共施設の展示等のほか、市民団体等との共催事業など様々な機会を捉えて広く市民へ還元した。			
協働のパートナー	NPO法人ちょうふこどもネット、FC東京、株式会社タキオンジャパン（調布市平和映画・朗読会）、調布市原爆被害者の会、調布平和のつどい実行委員会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	平和
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	30平和・国際交流施策の推進
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・事業の実施・会場全体の運営	
	市の役割	事業の企画・広報・会場提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 ピースメッセンジャーの取組は中学生被爆地平和派遣事業として、令和元年度から実施。新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は長崎への派遣を見送り、市内での平和学習を実施するとともに、令和3年度から新たにFC東京と連携を図った。「調布平和の祭典」については、市民団体の活動を市民に知っていただくとともに、ピースメッセンジャー2019・2021による活動報告や平和都市宣言の朗読を実施することで、市の平和祈念事業の取組のPRや若い世代の平和への想いを発信することができた。		
協働したことによる成果			
ちょうふこどもネットによる、グループワーク、メッセージボードの作成、フィールドワークの実施等の支援により、ピースメッセンジャーの事業への主体的な参加及び効果的な学習を促すことができた。また、FC東京との連携により、多面的な影響力を生かした効果的な取組の周知を図ることができた。株式会社タキオンジャパンと連携することにより、被爆体験伝承者や家族証言者から講話を聞く機会を設けることができた。「調布平和の祭典」については、市民団体の活動を市民に知っていただくとともに、ピースメッセンジャー2019・2021による活動報告や平和都市宣言の朗読を実施することで、市の平和祈念事業の取組のPRや若い世代の平和への想いを発信することができた。			
協働に当たっての課題と対応			
若年層を含め、幅広い世代の市民が平和祈念事業へ参加し「平和」や「戦争」について考えていただく機会となるよう、広報等に力を入れていく必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	国際交流事業の実施	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	国際交流の促進	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
本事業は、調布市国際交流協会が主体となり、外国人が日本の伝統文化に触れ、日本の良さを知ってもらうことを目的に実施している。令和3年度は、外国人留学生との交流事業を実施したほか、新たに外国人専門家相談会を業務委託し、多文化共生社会の推進を図った。また、市職員及び関連団体向けに「やさしい日本語」に関する研修を実施し、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組んだ。			
協働のパートナー	調布市国際交流協会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 国際交流
			関連施策※ 30平和・国際交流施策の推進
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・実施、事業参加者（外国人会員・留学生ボランティア）の募集	
	市の役割	事業の運営補助、広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 令和3年度は、例年の事業に加えて、「外国人専門家相談会」を新たに実施。		
協働したことによる成果			
日頃の活動から国際交流事業にノウハウやネットワークを持つパートナーである調布市国際交流協会との共催により、パートナーの専門性を活かした事業を実施することができた。また、外国人専門家相談会においては、各種専門家及び通訳ボランティアを国際交流協会に選出いただき、10組12人の相談者に参加いただいた。			
協働に当たった課題と対応			
パートナーである調布市国際交流協会が中心となって事業を実施しており、パートナーと市との円滑な連携が取れている。また、委託事業においては、国際交流協会の人員体制を考慮したうえで、市との役割分担を明確にすることが円滑な事業運営を図るために必要である。			

協働事業名	パラハートちょうふの取組（調布市パラアート展2021）	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	文化振興事業の支援	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市は、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、「パラハートちょうふ」のキャッチフレーズを掲げ、さまざまな分野で取組を展開している。この取組の一環として、市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品の展示を調布市福祉作業所等連絡会と共催により実施した。コーディネーターがキットを配布し制作した「ワークショップ作品」と作業所等が日常の活動の中で制作した「自主制作作品」を展示した。			
協働のパートナー	調布市福祉作業所等連絡会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 文化
			関連施策※ 19芸術・文化の振興
役割分担	パートナーの役割	福祉作業所との連絡・調整	
	市の役割	事業の企画・作品募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 オリンピック・パラリンピック関連事業として実施。今後も継続的に開催する。		
協働したことによる成果			
福祉作業所等で活動する方々が制作した作品を展示することで、それぞれの個性や芸術性をPRし、共生社会の充実につなげることができた。また、多くの方にご来場いただき、市内の福祉作業所の活動を広く発信することができた。			
協働に当たった課題と対応			
事業の企画・運営に参加団体がより主体的に取り組むことができるよう、開催に向けた役割の分担を行う必要がある。より多くの事業者や団体に関わっていただけるよう、他のイベントでのPRを検討する。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	市民との連携による生涯学習のきっかけづくり	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	市民が主役のまちづくり事業	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
シニア層の生きがいや地域との関わりを持つきっかけづくりの機会を提供することを目的として、「地域デビュー事業」及び「生涯学習サークル体験事業」を実施した。「地域デビュー事業」では、市民の自主的なまちづくり活動を推進するため、対象者と同世代の市民有志による委員会を組織し、各種講座を実施した。「生涯学習サークル体験事業」は、市民が実際のサークル活動に参加し、体験してもらうものであり、市が事務局として参加者の募集を行い、サークル体験の運営は生涯学習サークルが行った。			
協働のパートナー	地域デビュー推進委員会、各生涯学習サークル		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	生涯学習サークル体験の企画・運営、地域デビューに係る講座の企画・運営	
	市の役割	市報等による参加者の募集、地域デビューに係る講座の参加者募集・受付、会場提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 令和3年度は新型コロナウイルスの影響に伴い一部事業が中止となったが、地域デビュー事業は平成18年度から、生涯学習サークル体験事業は平成17年度から開催している。		
協働したことによる成果			
シニア層や地域活動への参加を希望する市民にとって、地域活動や同世代とのコミュニケーションの楽しさを見出す機会となり、地域活動への参加や地域での仲間づくりを促すことにつながった。地域デビュー事業の企画・運営を行っている推進委員もシニア層の方々が中心となっており、シニア層が地域で活躍する場を提供することにもなっている。			
協働に当たった課題と対応			
地域デビュー事業は、実行委員にとっても地域デビューの場となることを目的としているため、委員をサポートしつつ自主性を尊重した事業運営に努めていく。生涯学習サークル体験は、体験事業を実施するサークルが固定化してきているため、体験事業未実施のサークルとの協働での実施ができるよう、サークルへの更なる周知を図るとともに、より効果的な広報展開を検討していく。			

協働事業名	「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」関連事業団体との連携	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	文化振興事業の支援	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市は、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を行い、子どもから大人まで誰もが芸術文化を育むことができる場・つながる機会をより一層創出・支援するまちづくりに取り組んでいる。平成29年度には宣言のシンボルマークを市民投票で決定し、宣言に基づき、市民に芸術文化に触れられる様々な機会を提供する団体と連携し共催や事業協力により取り組んだ。宣言の啓発とともに調布市の魅力を発信するために活用している。			
協働のパートナー	調布市文化協会ほか		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 文化
			関連施策※ 19芸術・文化の振興
役割分担	パートナーの役割	東京2020大会に向け宣言の啓発及び調布市の魅力を発信するとともに、市民の芸術・文化活動を支援する	
	市の役割	市報・市ホームページ等による広報、市内公共施設へのチラシ・ポスター配布	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 宣言のシンボルマークを市の事業に使用するとともに、市民団体等が実施する事業にも使用いただき、宣言及び宣言に基づく取組のPRを図る。		
協働したことによる成果			
調布市文化協会をはじめ、各市民団体との共催により、市民文化祭等を実施し、地域の魅力を高めるとともに、市民が身近に芸術・文化に触れる機会を創出した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により多数のイベントの中止を余儀なくされた令和3年度の状況下においても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底や映像配信などの対応により、市民文化祭を開催し、コロナ禍においても市民の文化・芸術活動に対する機運醸成につながった。			
協働に当たった課題と対応			
「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」及び宣言シンボルマークの市民への更なる普及・周知が必要であり、スポーツ振興課と連携しながら、より市民団体が使用しやすいような利用方法の見直しを検討するとともに、宣言に基づく市民の活動として、より積極的なPRを行えるよう、市の情報発信の充実を図る。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	フードドライブの実施	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	消費者啓発事業	電話番号	042-481-7140
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減及びその活用を目的として、家庭や事業者から持ち寄った食品を市内福祉施設等へ提供するフードドライブを調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会並びに市内事業者と連携し、年3回実施している。</p>			
協働のパートナー	調布市消費者団体連合会、調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会、市内協力事業者	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	消費生活
		関連施策※	03消費生活の安定と向上
役割分担	パートナーの役割	運営補助、広報活動、食品の分配	
	市の役割	場所の提供、広報活動、その他全体調整	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	平成26年度に試行実施後、平成28年度から単独で開催し、平成29年度以降年4回、令和2年度以降年3回、定期的に実施している。	
	協働したことによる成果		
<p>消費者団体や地域公益活動連絡会と連携を図ることにより、各々の情報発信ツールを使い、広く活動の周知を図ることができた。市民の食品ロスへの意識が高まり、多くの食品が集まった。また、食品の分配先である福祉施設の状況を把握している同連絡会の協力を得られたこともあり、集まった食品を無駄にすることなく必要とする方々に届けることができ、食品の有効活用につながった。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>市民一人一人が問題意識を持ち、食品ロス削減のため主体的に取り組んでもらえるよう、更なる食品ロス削減への取組や普及啓発活動が必要となってくる。食品ロス削減とその有効活用を目的としているフードドライブだが、今後は部署を超えての横断的な連携も必要となってくるため、関係部署との情報共有や連携を強化していく必要がある。さらに、市民団体「フードバンク調布」とも情報共有し、連携を図っていく。</p>			

協働事業名	食品ロス削減に向けた取組	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	食品ロス削減に向けた取組	電話番号	042-481-7140
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>市が取り組む食品ロス削減に向けた啓発活動に、ニチバン株式会社が作成した、食品ロス削減に向けた取組を推進する、食品ロス削減国民運動キャラクター「ろすのん」仕様のワザアリTMテープを活用することで、食品ロス削減に向けた取組を広く周知する。</p>			
協働のパートナー	ニチバン株式会社	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	消費生活
		関連施策※	03消費生活の安定と向上
役割分担	パートナーの役割	啓発グッズの提供、広報活動	
	市の役割	事業の企画、運営、広報活動	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	食品ロス削減へ向けての普及・啓発活動を行う。	
	協働したことによる成果		
<p>幅広い年代に、様々なイベント等を通じて食品ロス削減に向けての啓発活動を行うことで、食品ロス削減の取組を身近に感じてもらい、食品を大切に消費することの重要性を意識してもらえるような発信につながった。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>市民一人一人が問題意識を持ち、食品ロス削減のため主体的に取り組んでもらえるよう、様々な機会を捉え、食べ物を無駄にしないよう広く周知を図り、市民にできることから取り組んでもらえるよう、啓発を進めていく。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	消費生活講座	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	消費者啓発事業	電話番号	042-481-7140
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
多くの市民が消費生活に関する様々な知識を習得し、自主的な行動ができ、健全な消費生活を営むことができるよう支援することを目的として、東京都と共催で消費生活講座を実施している。市が企画・提案した内容に基づき、東京都が講師の手配、謝礼支払及び実験実習講座であれば器材準備などを担っている。			
協働のパートナー	東京都		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 消費生活
			関連施策※ 03消費生活の安定と向上
役割分担	パートナーの役割	講師派遣、謝礼の支払い、実習講座の器材準備	
	市の役割	講座の企画・運営、会場・設備の提供、広報活動・その他調整	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 東京都の事業実施経験に基づき、市の企画する講座内容に合う講師を紹介してもらい、講座を実施している。		
協働したことによる成果			
東京都と共催する消費生活講座のほかに、市単独開催の消費生活講座も実施しているが、東京都と共催することで、より多くの市民への学びや情報提供の場とすることができた。また、テーマや講師選定に関しては、東京都のこれまでの実績などから、幅広いテーマやそれに合致した講師を紹介してもらうことで、より充実した講座実施が可能となる。			
協働に当たっての課題と対応			
講座内容が同様のテーマとならないよう、幅広い内容を企画していく必要がある。そのため、東京都のこれまでの実績等を活かし、共催ならではのテーマ選定につなげていけるよう、更なる情報共有に努めていく。			

協働事業名	調布市文化・コミュニティ振興財団との連携	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	文化振興事業の支援	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、市民が優れた芸術・文化に触れたり、気軽に芸術・文化活動に取り組むことができるようにすることを目的に、（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との共催により、一部オンライン配信等を交えながら、調布国際音楽祭2021、第66回調布市民文化祭、映画のまち調布 シネマフェスティバル2022等を開催した。各事業の開催に当たっては、調布市文化・コミュニティ振興財団と協力し、開催に向け検討を行い、役割分担をして開催した。			
協働のパートナー	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 文化
			関連施策※ 19芸術・文化の振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
	市の役割	各事業の企画・運営に関する支援、市報掲載等による広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 予約制の導入や、参加人数の制限、オンラインワークショップ、映像配信の実施など、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底したうえで、様々な工夫を凝らしながら事業を実施した。		
協働したことによる成果			
文化事業の運営に実績のある調布市文化・コミュニティ振興財団との共催や業務委託をすることによって、魅力のある事業の企画・運営が図れ、参加者の増加などの効果があった。令和3年度は、「たづくりアスリートワンダーウォール!4」、「調布国際音楽祭2021」、「クリエイティブリユースでアート!」等を実施したほか、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」では、2年ぶりに文化会館たづくりでの上映、関連展示等を実施し、映画の作り手にスポットを当てるフェスティバルとして一層の定着を図った。			
協働に当たっての課題と対応			
パートナーである調布市文化・コミュニティ振興財団は、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の指定管理者として、当該施設の管理・運営を担っている団体であり、各共催事業の準備に限らず、市と定期的に打合せ等を行っており、日頃から意思疎通を図ることで、各共催事業においても、円滑な運営につながっている。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	相互友好協力協定締結大学定例会	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	市民が主役のまちづくり大学事業	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
文化、教育、学術、スポーツ、芸術、国際交流の分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的とし相互友好協力協定を締結している地域の大学と連携の相談及び情報交換のために定例会を開催している。			
協働のパートナー	相互友好協力協定締結大学		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・事業の実施	
	市の役割	事業の企画・参加者募集・会場提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 相互友好協力協定締結大学との連携を深めていくために、平成22年度から実施している。		
協働したことによる成果			
令和3年度は計4回の会議を実施し、新型コロナウイルスの影響に伴い、オンライン開催とした。開催に当たっては、各担当課から案件を募集し、情報交換の場を設けたことで、連携につなげることができた。			
協働に当たった課題と対応			
相互友好協力協定締結大学との連携に関する市民への情報発信に課題があり、連携実績等を積極的に市ホームページに公開していく必要がある。 オンライン開催においても、対面開催と同様にスムーズな意見交換をできるよう司会進行を工夫する必要がある。			

協働事業名	相互友好協力協定締結大学との連携	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	市民が主役のまちづくり事業	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
相互友好協力協定を締結している大学の特色を活かし、市民の新たな学びの機会の創出や大学との連携についての認知度を高めるために各大学と事業を企画、実施している。			
協働のパートナー	相互友好協力協定締結大学 (電気通信大学)		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	企画・イベントの開催・会場全体の運営	
	市の役割	企画・イベント・広報の協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 「サイエンスカフェChofu」は平成29年度から実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響に伴い全6回すべてオンラインでの実施となった。		
協働したことによる成果			
電気通信大学と共催した「サイエンスカフェChofu」では昨年度に引き続きオンライン開催としたことで、遠隔地からの参加もあり、参加者層の広がりを見せた。			
協働に当たった課題と対応			
「サイエンスカフェChofu」については、相互友好協力協定締結大学へ講師の依頼等協力を依頼し、内容の充実を図る。コロナ禍においてもオンラインを活用した各大学との連携を検討していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	ちょうふ地域コミュニティサイトの運用	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課	
事務事業名	生涯学習情報システム（さがす見つかるシステム）の活用	電話番号	042-481-7036	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
「調布市生涯学習情報システム（さがす見つかるシステム）」の再構築を行い、平成29年4月に地域ポータルサイトとして「ちょうふ地域コミュニティサイト ちょみっと」を運用開始した。地域に密着した情報を広く発信できるサイトとするため、市内の市民団体とのネットワークを持ち、地域活動にも幅広い見識を持つパートナーであるNPO法人に業務委託し、運用及び活用促進を行っている。				
協働のパートナー	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	事業提案者	市	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	コミュニティ
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	課題の抽出・共有・検討、情報共有、改修作業		
	市の役割	課題の抽出・共有・検討、情報共有、会議の運営		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 市民活動支援センターホームページ開設等の実績を持ち、地域活動にも幅広い見識を持つNPO法人をパートナーとした。			
協働したことによる成果				
パートナーであるNPO法人は、市民団体としての側面も有しているため、その提案及び意見は市民ニーズに近いものであり、システムの機能改善及び活用促進等の提案を受けることができた。広範囲にわたる地域情報の中から市民が必要とする情報を発信していくことや、地域団体がシステムを使って情報発信する仕組みを整えていくことが重要であり、調布市の地域の特色・情報に精通しているパートナーの知識や経験を活かし、運用を行うことができた。				
協働に当たった課題と対応				
多様化する市民活動やライフスタイルに対応するため、今後も機能・運用方法・活用方法等についてパートナーと引き続き検討し、共通認識を持って改善を図る必要がある。				

協働事業名	ふれあいの家の管理運営	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課	
事務事業名	ふれあいの家の管理運営	電話番号	042-481-7122	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
ふれあいの家は、小規模かつ身近な集会施設として、自治会等の地域住民で組織された各ふれあいの家運営委員会が指定管理者となり、それぞれの施設の管理運営を行っている。地域住民である運営委員会が使用申請に対する承認、利用料金の受領、カギの受け渡し、軽微な修繕等の管理業務を行うことで地域のニーズに応じた柔軟な対応や利用者にとって親近感のある管理運営が実施されている。				
協働のパートナー	ふれあいの家運営委員会（18施設）	事業提案者	市	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	コミュニティ
			関連施策※	15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	日常的な施設の維持管理業務・施設の受付業務		
	市の役割	大規模及び全体的な施設の維持管理業務・代表者会議の開催		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 地域の身近な集会所として、地域のニーズに応じた管理運営を行うことともに、親近感のある施設提供を行うことで、市民が気兼ねなく利用できる施設運営ができた。			
協働したことによる成果				
地域住民で組織された運営委員会が自主性を活かして施設を運営することで、地域の実情に沿った施設管理が行われ、利用者ニーズにきめ細かくかつ柔軟に対応することができた。				
協働に当たった課題と対応				
各運営委員会において組織の高齢化・固定化が組織の運営に影響を及ぼしはじめている。継続的に運営委員会が地域団体の運営メリットを活かしたふれあいの家の管理運営を行えるよう、幅広い視点から指定管理者制度の運用について検討していく。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	コミュニティ推進事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	コミュニティづくりの推進	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
コミュニティ活動及び市民の連帯感の向上に寄与することを目的に、自治会の設立・加入促進や地区協議会（17地区）の運営支援などのコミュニティ推進事業に対し、必要な補助金を交付した。事業としては、自治会では安全対策セミナー（防災に関する講演や訓練）や防犯用ラジオの配布などを実施したほか、地区協議会では地区同士の連携推進を目的とした地区協議会代表者名簿を作成した。			
協働のパートナー	調布市自治会連合協議会、各地区協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	地域自治会及び各地区協議会の活性化に向けた取組の実施	
	市の役割	地域自治会・地区協議会などの団体情報の提供、会議への参加、広報協力（市報・市HPへの掲載など）、財政的支援	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 地域コミュニティに効果的な支援を検討していく中で、コミュニティ推進事業を実施する調布市自治会連合協議会及び各地区協議会に対し、必要な補助金を交付した。		
協働したことによる成果			
自治会連合協議会については、主体的な活動を、市が側面から支援することで、地域自治会の必要性や自治会として大きくまとまることの重要性を市民にわかりやすく浸透させることができた。地区協議会については、主に広報活動を支援し、地区協議会の認知度を向上することができた。			
協働に当たった課題と対応			
パートナーと定期的に意見交換の場を持ち、認識を共有した。また、パートナーの組織の会合（理事会、運営委員会等）や各種活動をオブザーブし、パートナーの状況把握に努めた。			

協働事業名	自治会といっしょに！キャンペーン	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	自治会を通じた市政情報の提供	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
自治会組織の育成を図り、また自治会の輪を広げていくことを目的に、「自治会といっしょに！」をテーマとして、令和3年11月の1箇月間を期間とし、キャンペーンを実施した。			
協働のパートナー	調布市自治会連合協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	勉強会の開催、キャンペーンPR活動	
	市の役割	市報及びホームページによる広報協力、場所の提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 自治会に対する効果的な支援を検討していく中で、自治会の連合組織である自治会連合協議会との協働事業を実施することとなった。		
協働したことによる成果			
自治会の役員を中心に勉強会・相談会を実施した。また、市民を対象にした安全対策セミナーを自治会連合協議会と協働して実施した。勉強会等において自治会支援を行うことができた。			
協働に当たった課題と対応			
自治会支援は継続して取り組んでいく内容である。次年度以降も引き続きキャンペーンとして継続的に取り組んでいくとともに、定期的に加入促進を行うなど、年間を通じての支援を充実させていくことも必要である。効率的かつ効果的な進め方を検討する必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号と施策名を記載しています。

協働事業名	市民活動支援センターの運営	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	市民活動支援センターの運営	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市民活動支援センターは「市民活動は市民が支える」という観点から、運営団体を公益的な社会貢献活動を行う社会福祉法人調布市社会福祉協議会に業務委託し、市との協働事業と位置付け、運営を行っている。運営に当たっては、市民活動支援センター運営委員会において意見交換し、市民のニーズを運営方針に反映させるとともに、定例の打合せの場を活用し、設置者と運営団体の意思疎通を図った。			
協働のパートナー	社会福祉法人調布市社会福祉協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	施設運営（様々な市民活動を専門性や経験、場所、人的ネットワークを活かしてサポート）	
	市の役割	施設設置、運営への参加	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 地域で活躍する様々な分野の市民活動を行っている個人や団体に対し、それぞれの活動を相互に交流、連携させるための拠点として支援を行った。		
協働したことによる成果			
パートナーの専門性を生かし、市民のニーズに柔軟に対応し、各事業へ多くの市民の参加を得ることができた。また、長年培ったネットワークやコーディネート力を活用することで、市民参加の推進及び多くの市民活動団体の協力を得ることができた。			
協働に当たった課題と対応			
市とパートナー間での認識の差が生じたり、運営委員会の意見がまとまらないことがある。そのため、運営委員会前に定例の打合せで情報共有を行うことで認識や情報の統一、方向の確認を行った。また、月間・年間の事業の進捗状況の把握・管理を実施している。			

協働事業名	いやしとふれあいの旅事業 （宿泊料金の割引、調布発着のバスツアー）	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	調布市いやしとふれあいの旅事業	電話番号	042-481-7122
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
本事業は、特定行楽施設のある地域の人々や自然とのふれあいを通じて、市民の保養と心身の健康増進に寄与することを目的として、京王観光株式会社、さくらツーリスト株式会社と事業協定を結び、市民への宿泊料金の割引や、調布発着のバスツアーを実施するもの。被災地支援を目的としたプランも企画・実施した。各パートナーの企画を受け、市は事業の紹介や参加者募集等の広報を行った。また、各パートナーが宿泊料金を割引する優待施設を市民が利用した場合に、その宿泊費用の一部を市で助成した。			
協働のパートナー	京王観光株式会社、さくらツーリスト株式会社		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	プランの企画・実施・報告	
	市の役割	市報等での広報・事業全体の調整	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 専門性を伴う事業のため、利用者ニーズにあった企画を安全に実施するためには旅行分野に精通したパートナーと協働で行うことが必要。		
協働したことによる成果			
対象となる宿泊施設の選定やバスツアーの企画・実施等、旅行会社ならではの専門性を活かした調布市民向けの事業を実施している。			
協働に当たった課題と対応			
パートナーが複数いるため、事業に対する考え方や各パートナーで把握している利用者ニーズや課題を共通認識とするため、定期的に関係者が集まる機会を設けて情報交換等を行っているほか、随時、連絡を取り合い調整を図っている。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布まち活フェスタ	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	コミュニティづくりの推進	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
地区協議会をはじめ、市内のまちづくり活動（地域活動等）の更なる活性化を図るため、有志により実行委員会を組織して準備を行い、地域の様々な団体による活動のPRや出展を通じて「多世代の誰もが楽しめるイベント」を実施した。			
協働のパートナー	まち活フェスタ実行委員会、調布市市民活動支援センター	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	コミュニティ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	企画・イベント当日の展示物の作成。会場全体の運営	
	市の役割	広報・事務局のサポート	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	多くの市民に向けて市民活動をPRするため、幅広い世代の実行委員が力を合わせ、コロナ禍においても誰もが楽しめる様々な企画の運営(オンライン開催)を行い、交流を図ることができた。	
協働したことによる成果			
実行委員会を通じた実行委員同士のつながりやアイデアから、コロナ禍にもかかわらず様々な企画の実施や多くの市民活動団体の出展が実現できた。多世代の方々が実行委員として参加する事で交流が図られ、調布市の様々な魅力を共有し合うなど、互いに多くのことを学び取る体制を整えることができた。			
協働に当たった課題と対応			
継続して開催することで、事業実施についてのノウハウは蓄積されてきているが、市民等で組織される実行委員のメンバーが各年で流動的なこともあり、進行が事務局主導になる傾向がある。平成30年度から市民活動支援センターが事務局を担っており、今後、センターの持つ人脈など、強みを生かしながら、実行委員の確保や実行委員の主体性をより引き出すことにより、継続的に事業を実施できるような体制を検討していく必要がある。			

協働事業名	男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」の開催	所管部課名	生活文化スポーツ部 男女共同参画推進課
事務事業名	男女共同参画啓発・相談事業の実施	電話番号	042-443-1213
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
国の男女共同参画推進週間に合わせて、男女共同参画に関するイベントを開催するもの。参加団体を公募し、7団体による実行委員会及び2団体の協力により市民プラザあくろすで実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企画ごとに定員を設け、参加者はスタッフを含め延べ212人であった。また、記録集を200部発行した。			
協働のパートナー	男女共同参画推進フォーラム実行委員会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	男女共同参画
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	会議への参加、フォーラムの運営	
	市の役割	会議運営、意見集約、資料提供、フォーラムの運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	新たな団体の参加を積極的に呼び込み、ネットワークを広げている。	
協働したことによる成果			
新しい試みとして、フォーラム実行委員会のホームページを作成し、主なPR方法を紙媒体からネット媒体へ移行し、幅広い世代へ周知することができた。また、新規の市民団体の参加や協力を得ることができたことに加え、コロナ禍での実施方法について、実行委員と市が協力して工夫することで、新しいフォーラム様式を生み出すことができた。			
協働に当たった課題と対応			
新たな参加団体を増やしていくとともにフォーラムを推進するため、実行委員が主体的に関わり、フォーラムの円滑な運営ができるよう指定管理者の協力を得ながら事務局と共催していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	女性の「キャリア研究」についての講演	所管部課名	生活文化スポーツ部 男女共同参画推進課
事務事業名	男女共同参画啓発・相談事業の実施	電話番号	042-443-1213
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
就職前の大学生に対しキャリア研究についての講演を行い、女性が人生で遭遇する可能性がある問題について認識を深めることで、社会的・経済的自立の重要性を考える機会を創出した。大学講義の一環として講演を実施することで、より多くの学生に対して意識啓発を実施した。			
協働のパートナー	白百合女子大学		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 男女共同参画
			関連施策※ 31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	会場等の環境整備、日程調整	
	市の役割	大学と講師間の取りまとめ、啓発物の配付	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 毎年1回（2日間）実施している。		
協働したことによる成果			
講師は男女共同参画推進センターの相談員であることから、講演を機に大学生に対してセンターを周知することができた。			
協働に当たった課題と対応			
大学の講義の一部として行うため、確実な準備を行っていく必要がある。			

協働事業名	女性のための起業セミナー	所管部課名	生活文化スポーツ部 男女共同参画推進課
事務事業名	男女共同参画啓発・相談事業の実施	電話番号	042-443-1213
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
女性の多様な働き方の一つとして、起業という選択肢があることを啓発し、起業への支援に繋げる。セミナーでは、起業経験のある講師による講演のほか、産業労働支援センター、男女共同参画推進センター、日本政策金融公庫、多摩信用金庫の各担当者が事業の紹介を行った。			
協働のパートナー	日本政策金融公庫、多摩信用金庫		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 男女共同参画
			関連施策※ 31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	日本政策金融公庫、多摩信用金庫	
	市の役割	企画運営、会場確保、申込受付、広報（主たる事務は産業労働支援センターで実施）	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 企業への支援につなげるため、毎年1回実施している。		
協働したことによる成果			
市の産業労働支援センター、男女共同参画推進センターに加え、共催者の日本政策金融公庫と多摩信用金庫の職員も参加することで、起業に向けた資金調達等について、より具体的・実践的なセミナーとなった。			
協働に当たった課題と対応			
4者での共催事業であるため、準備段階からの情報共有が欠かせない。引き続き市民への広報についても4者のノウハウを活かして行っていきたい。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	市内映画・映像関連企業や市民団体等と連携した「映画のまち調布」の推進	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	「映画のまち調布」の推進	電話番号	042-481-7184
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、乳幼児を対象とした定期的な映画鑑賞会、中学生の映画づくりワークショップ、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」関連事業（一部新型コロナウイルス感染症の影響で中止）の実施など、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、市内映画・映像関連企業や市民団体などと連携した調布市ならではの各種イベントを開催した。			
協働のパートナー	子どもたちと映画寺子屋、調布シネマクラブ、角川大映スタジオ、日活調布撮影所、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団など	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	分野	観光・魅力発信
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画立案・運営	
	市の役割	各事業の企画立案・運営、会場確保、市報や市ホームページ等での広報、補助金の交付	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 各事業において、参加者の感想等を各パートナーが次年度の取組に反映するなど、より良い企画となるよう検討を重ねながら実施している。		
協働したことによる成果			
パートナーとの共催事業においては、パートナーが主体的に事業を企画し、パートナーの持つネットワークやノウハウを活かすことで、多くの事業協力者や参加者を得ることができた。また、映画・映像関連企業の協力により、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」（一部新型コロナウイルス感染症の影響で中止）を実施したほか、中学生のための映画づくりワークショップの実施など、子どもから大人まで幅広い世代が様々な角度から映画に触れ、興味を持っていただける事業展開ができ、「映画のまち調布」の推進につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
市が補助金を交付している事業においては、パートナーが継続的に事業を実施していくためにも、協賛金を募るなど、自主財源確保に向けた支援等を検討する必要がある。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部事業が中止となった。今後については、新型コロナウイルス感染症の状況や社会情勢を見極めつつ、安全かつ充実したメニューで開催できるよう実施方法を検討していく必要がある。			

協働事業名	商店街活性化の推進事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	商店街活性化の推進事業	電話番号	042-481-7539
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
商店会支援については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止（予定：19商店会27事業、実績：7商店会9事業）が相次いだ。実施可能な事業を積極的に支援し、地域経済の維持・再活性化に少しでもつながるよう取り組んだ。 また、商店会支援の一環として、商店街の街路灯に係る電気料金を補助することで、商店会の負担軽減を図った。 調布市プレミアム付商品券事業やキャッシュレス決済ポイント還元事業においては、中小規模の事業所での利用が促進されるよう仕組みを工夫し、商店街活性化に向け、商工会及び市内事業者と連携して消費喚起に取り組んだほか、調布駅前商店街と連携し、商品券が利用可能な会員店舗を記載したマップを作成した。			
協働のパートナー	市内商店会、市内事業者、調布市商工会、調布駅前商店街	事業提案者	市及びパートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	分野	産業・労働
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	16活力ある産業の推進
役割分担	パートナーの役割	商店街活性化事業の検討及び実施、市事業への参加・協力	
	市の役割	補助金の交付、事業運営への協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 各種活性化事業の継続事業において、新たな商店会や市内事業者の参加を得るなど、より広範に事業展開を図っている。		
協働したことによる成果			
商工会、市内事業者及び商店会等との連携により、地域経済の維持・再活性化につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
商店街活性化の推進に向けて、活動の幅をより広げられるよう協働していくことが課題となる。各事業ごとの連携のパートナーについて、固定化することなく、関係団体を加えながら、新しい視点による協働の方向性の模索を継続していくことが重要である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	商工会事業の支援	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	商工会事業の支援	電話番号	042-481-7539
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者支援に連携して取り組み、市内産業の振興に資する市内事業者・商店会への支援事業、ものづくり製品化事業、マル経融資利子補給（商工会事業資金融資）のほか、商工まつりや商業・工業・建設業・サービス業の部会活動などを支援した。			
協働のパートナー	調布市商工会		事業提案者 市及びパートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 産業・労働
			関連施策※ 16活力ある産業の推進
役割分担	パートナーの役割	商工会事業の検討及び実施	
	市の役割	補助金の交付、事業運営への協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 市と連携する機会が多い調布市商工会とは、定期的な意見交換の場を設けながら、各種連携事業についての情報共有や協議を行いながら、事業展開している。		
協働したことによる成果			
市内産業の振興に資する事業の実施により、コロナ禍における地域経済の維持・再活性化に向けた取組を推進できた。キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施と併せ、市内事業者がキャッシュレス決済導入に必要な機器の購入に対する補助を商工会が実施し、キャッシュレス決済の普及と消費喚起を図ることができた。また、商工会が実施する、市内中小企業等を対象とした新型コロナウイルスの感染予防に係る備品購入や工事の費用に対する助成事業を、令和2年度に引き続き補助し、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の維持・再活性化につなげることができた。			
協働に当たった課題と対応			
各団体が主体的に事業に取り組み、地元団体を中心とした事業の実施及び運営組織を構築・強化していくことが課題である。			

協働事業名	調布駅前から盛り上げる会	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	調布駅前から盛り上げる会	電話番号	042-481-7539
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内商店会、商工会に加え、大型店舗（調布PARCO、トリエ京王調布、イオンシネマ シアタス調布）、行政が有機的に連携し、地域経済の活性化につなげることを目的とした「調布駅前から盛り上げる会」を定期的で開催した（新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より実施回数減）。また、調布駅周辺のプレミアム付商品券の使える店舗のマップ作成や、映画の半券を活用した割引サービスの実施など、地域経済の維持・再活性化に向けて取り組んだ。			
協働のパートナー	調布駅前から盛り上げる会 （京王電鉄株式会社、イオンエンターテイメント株式会社、上布田商栄会、小島商栄会（パルコ含む）、調布銀座商栄会協同組合、調布中央商店会、天神通り商店会、調布市商工会、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、市）		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 産業・労働
			関連施策※ 16活力ある産業の推進
役割分担	パートナーの役割	調布駅前における意見交換・事業協力など	
	市の役割	情報提供や、運営補助など円滑に事業・協議を推進	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 平成29年秋のトリエ京王調布・イオンシネマ シアタス調布の開業を契機に、関連団体が連携することで、地域経済の活性化に繋げるために連携体制の継続を目指した。		
協働したことによる成果			
調布駅前の商店会・大型店等が集まり、調布駅周辺を中心とした地域経済の回復・活性化に向けた協力体制や懸念事項の情報共有など、定期的で開催したことで、率直な意見交換を行うことができ、今後の施策展開に向け、連携体制の強化につながった。			
協働に当たった課題と対応			
各団体の意向を踏まえ、地域経済の維持・再活性化に向けて、地域性に適した新たな手法の検討・構築が課題である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市観光協会事業の促進	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課	
事務事業名	調布市観光協会事業の促進	電話番号	042-481-7185	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
調布の歴史と映画のまち・芸術文化・スポーツなどの特色を有する市の観光事業の振興を図り、産業の発展と文化の向上に寄与することを目的として、調布市観光協会と連携し、地域資源を活用した観光事業を実施するほか、観光案内所の運営支援や特色ある観光情報の発信や提供を実施している。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興に向けた取組機会が令和元年度以前と比較して減少したが、「ゲゲゲの鬼」の実施による「水木マンガの生まれた街 調布」の推進や、撮影体験ワークショップ等の実施による「映画のまち調布」の推進をはじめ、深大寺地域における周辺店舗スタンプラリーの実施、各種観光イベントの広報・協力、調布市観光ボランティアガイドの支援など、観光協会と連携し、実施可能な事業に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内飲食店支援の一環として、観光協会との連携により、市役所前庭でランチマーケットを実施するなど、新たな取組も実施した。				
協働のパートナー	調布市観光協会		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	観光・魅力発信
			関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	観光協会事業の検討・実施		
	市の役割	補助金の交付、事業への支援		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 パートナーとの円滑な連携体制を活かし、様々な事業展開を行っている。			
協働したことによる成果				
各観光事業を、パートナーとの連携の下、多くの市民や関係団体等の参加や協力を得ながら、実施することができた。各関係機関と協働することで、新型コロナウイルス感染症による市内事業者への影響を即時的に把握することができ、観光振興による地域経済の維持・再活性化に取り組むことができた。				
協働に当たった課題と対応				
観光協会を中心として、各種関連団体と連携した事業展開を図ることができたが、準備段階や開催後において、観光協会以外のパートナーとのより一層の協力体制を築くことが課題である。				

協働事業名	「水木マンガの生まれた街 調布」の推進事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課	
事務事業名	調布市名誉市民水木しげる氏関連事業	電話番号	042-481-7183	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
市は、名誉市民である故・水木しげる氏に関連し、株式会社水木プロダクションの協力の下、庁用封筒、各種発行物などへのキャラクター活用など、各部署において、水木キャラクターを活用した活性化事業を幅広く展開しており、「水木マンガの生まれた街 調布」として特色ある事業を推進している。 令和3年度においても、水木氏の命日である11月30日「ゲゲゲの鬼」を中心とした期間に、株式会社水木プロダクションや東映アニメーション株式会社等の関連企業と連携して、水木氏ゆかりの地を巡るスタンプラリーや、調布駅前広場及び鬼太郎ひろばでのイベント、イオンシネマシアタス調布でのアニメ特別上映会等を実施したほか、水木しげる氏生誕100周年（令和4年）記念の取組として、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」での「ゲゲゲの鬼太郎」第3期アニメ映画&TV上映の実施や、新作映画「鬼太郎誕生〜ゲゲゲの謎〜」、新アニメ「悪魔くん」の広報協力、鳥取県・境港市主催の「水木しげる生誕祭」との広報連携を行った。 また、市内にある鬼太郎グッズ専門店と連携した市のPRや、後援事業との連携として、演劇集団円主催の舞台「河童の三平」の劇場内での市のPRなどを実施した。その他にも、アニメ聖地として、アニメツーリズム協会との広報連携を実施したほか、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の制作会社である東映アニメーション株式会社の協力の下、YouTube番組「ゲゲゲのなんチャラ」で調布ロケ回を放送するなど、特色ある取組を展開した。				
協働のパートナー	株式会社水木プロダクション、調布市観光協会、布多天神社、鳥取県、境港市、東映アニメーション株式会社、イオンエンターテイメント株式会社、株式会社ジョイント、株式会社さくらぎ、一般社団法人アニメツーリズム協会、演劇集団円など		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	観光・魅力発信
			関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	水木キャラクター使用等にかかる使用許可、事業協力		
	市の役割	水木キャラクター活用事業の検討及び実施		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 パートナーとの円滑な連携体制を活かし、様々な事業展開を行っている。			
協働したことによる成果				
水木キャラクターを活用した特色ある事業を多岐にわたって展開することにより、「水木マンガの生まれた街 調布」の推進を図ることができた。また、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」等を活用した事業を各パートナーと協働で実施することで、水木作品のファンに加え、多くのアニメファンに調布市を認知してもらう機会が増え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「水木マンガの生まれた街 調布」を十分にPRすることができた。				
協働に当たった課題と対応				
パートナーとの円滑な連携体制を維持していくとともに、名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を記念した様々な取組について検討を行う。「ゲゲゲの鬼」については、より効果的に事業を実施するため、連携する団体等を拡大していくことが引き続き重要である。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業（調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定）		所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	インバウンド対策の推進、多様な主体と連携した観光情報の発信		電話番号	042-481-7183
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
訪日外国人観光客等に対して、調布市と一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団が有する観光情報・ノウハウを活用し、相互連携に取り組むことで、観光関連情報、周辺の避難所情報等を多言語化して提供するサービス「Guidoor（ガイドア）」を実施し、調布市のインバウンド観光推進に向けて取り組んだ。				
協働のパートナー	一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	観光・魅力発信
			関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報		
	市の役割	事業の企画、広報、施設との調整		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 財団の代表理事が長年調布市にお住まいであることから、2019年、2020年に向けて調布市のインバウンド観光推進を図りたいとの提案があり、協定の締結に至り、インバウンド観光推進の事業展開を行っている。			
協働したことによる成果				
「Guidoor」のウェブサイト（10か国語で表示可能）に誘導するQRコード付のパネル・ステッカーを、深大寺や各観光施設等に設置することで、訪日外国人観光客等に対して、調布市の観光関連情報、周辺の避難所情報等を提供することが可能となった。				
協働に当たっての課題と対応				
より多くの来訪者にアクセスしてもらうよう、コロナ禍における効果的・効率的なPR方法などを工夫していく必要がある。				

協働事業名	就労支援セミナー等の開催		所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	就労の支援、就労セミナー、就職面接会の実施		電話番号	042-443-1217
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
就労に向けた準備、機会の提供を図るため、各種セミナーや就職面接会を実施した。				
協働のパートナー	ハローワーク府中、厚労省東京労働局、公益財団法人東京しごと財団 東京しごとセンター多摩、東京都産業労働局		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	産業・労働
			関連施策※	11雇用・就労の支援
役割分担	パートナーの役割	各種セミナー等の主催・運営		
	市の役割	各種セミナー等の広報、会場の提供		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 あくろすは国領駅前という立地の良さで、一定の集客が見込まれることから、パートナーからは高評価を得ている。			
協働したことによる成果				
この協働事業では、特に、若者・女性に対する就労支援を手厚くしており、就労支援セミナーに対する満足度は高い。セミナーを通じて、就労に対する気運醸成を図り、就労意欲の向上につながった。				
協働に当たっての課題と対応				
雇用状況は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度には落ち込んだものの、令和3年度は徐々に求人も増えてきている。就労支援セミナーは、就職に直結する就職面接会と異なり、就労に対する心構えや、社会人としての基礎知識の習得及びパソコン講習等実践に即したところに重きを置いている。感染症の影響に十分注意するとともに、各パートナー機関と連携しつつ、セミナーの企画段階から参画し、受講者ニーズを汲み取って、より就労に直結する成果を出していく。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	金融機関との連携による民間ノウハウを活用した中小企業支援事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	中小企業・小規模事業者の支援	電話番号	042-443-1217
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市では、中小企業等に対するきめ細かな支援策を有する金融機関と連携し、調布市における中小企業等の振興及び地域経済の活性化を図るため、5つの金融機関と、「中小企業等支援に関する包括協定」を締結し、協定に基づき、各種経営支援のための情報を提供した。			
協働のパートナー	多摩信用金庫、三井住友銀行、りそな銀行、みずほ銀行及びみずほ信託銀行、西武信用金庫	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	産業振興
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	16活力ある産業の推進
役割分担	パートナーの役割	セミナーの開催・運営 情報提供	
	市の役割	セミナーの広報、会場の提供 情報提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各セミナーは中止となったが、金融機関支店窓口や市役所内、産業労働支援センター内でそれぞれ情報提供を行った。	
協働したことによる成果			
各協定締結金融機関との連携の下、各機関の情報について、各機関の市内店舗等に設置している広報スタンド等を活用し、広く市民へ情報提供を行ったほか、市内中小事業者に対して適切な情報提供を行えた。			
協働に当たった課題と対応			
より実態に即した中小事業者支援を進めていくため、中小事業者にとっての課題・問題を抽出して、より事業者にとっての喫緊の課題解決を手助けするように、各金融機関と連携していく。			

協働事業名	令和3年度調布市農産物品評会	所管部課名	生活文化スポーツ部 農政課
事務事業名	農業まつりの実施	電話番号	042-481-7182
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内農業者の生産意欲及び技術力向上を図ることを目的として開催したもの。例年、農業まつりと同時に開催しているが、新型コロナウイルスの影響により農業まつりが中止となったことから、単独での開催となった。			
協働のパートナー	調布市農業まつり実行委員会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	産業・労働
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	18都市農業の推進
役割分担	パートナーの役割	運営全般（事業主催者）	
	市の役割	運営補助	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	例年一般開放して市民も出品された農産物を観覧できたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一般開放を中止としたうえでの実施となった。今後も感染防止に配慮しながら実施に向け検討していく。	
協働したことによる成果			
市内農業者の生産意欲及び技術力向上につながった。			
協働に当たった課題と対応			
パートナーと市の役割分担や「協働」に対する共通理解に多少の差異が感じられるが、実行委員会等での意見交換により、合意形成に努めている。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市体育協会事業の支援	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	調布市体育協会事業の支援	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>広く市民にスポーツ、レクリエーションを普及・奨励し、市民の体力向上とスポーツ精神の涵養ならびに市民相互の融和を図ることを目的に、公益社団法人調布市体育協会と連携し、調布市民体育祭、調布市民スポーツまつり、リフレッシュ体操スクール、ジュニア陸上体験教室を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止もあったものの、感染防止対策を講じた上での実施や、動画配信の活用を行い、市民がスポーツに親しむ機会の創出を図った。</p>			
協働のパートナー	公益社団法人調布市体育協会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 スポーツ
			関連施策※ 14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
	市の役割	各事業の企画・運営に関する支援、市報掲載等による広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 体育協会とは日頃から情報共有等を密に行っており、事業の企画・実施に向けても新型コロナウイルス感染症対策を含めよりよい事業に向けて連携した取組を実施できている。		
協働したことによる成果			
<p>スポーツ大会やスポーツイベントの運営に実績のある体育協会へ業務委託することによって、そのノウハウを活用し、各事業において効果的に実施できた。新型コロナウイルス感染症の影響により市民駅伝競走大会が中止となる等の影響はあったものの、実施方法の変更等、感染症予防策を講じた上で実施した市民スポーツまつりをはじめ、リフレッシュ体操スクールや市民体育祭など、コロナ禍においても市民スポーツの振興を図ることができた。また、ジュニア陸上体験教室は体育協会・指導室との連携事業として実施し、トップアスリートから直接学べる貴重な機会を提供できた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>パートナーである調布市体育協会は、調布市総合体育館の指定管理者として、当該施設の管理・運営を担っている団体であり、各共催事業の準備に限らず、市と定期的に打ち合わせ等を行っており、日頃から意思疎通を図ることで、各共催事業においても、円滑な運営に繋がっている。今後は、さらなる主体との連携により、今まで以上の事業の内容の充実を図るよう検討していく。</p>			

協働事業名	FC東京による地域貢献活動支援	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>FC東京との連携事業として、市民のスポーツ振興、青少年の健全育成に取り組んだ。市内サッカークラブの指導者向けに講習会をオンラインで実施、市内在住・在園の年長児の親子及び市内在住・在学の小学生を対象とした「子どもサッカー体験教室」や、18歳以上のサッカー・フットサル初心者向けに「初心者向けフットサル教室」を実施した。また、FC東京応援企画としてメッセージ動画の作成、ユニフォームデーを実施した。さらにFC東京ホームタウン株主6市の担当者によるホームタウン分科会を開催。今後の連携事業についてFC東京担当者も交え、意見交換を実施した。</p>			
協働のパートナー	東京フットボールクラブ株式会社		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 スポーツ
			関連施策※ 14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各教室・事業等の企画・運営	
	市の役割	企画・広報・運営・準備等のサポート	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、できることを模索したなかで様々な事業を連携して実施した。FC東京と連携して開催する各種事業は例年人気であるため、今後も継続して実施していきたい。		
協働したことによる成果			
<p>プロサッカーチームであるFC東京の知名度やコーチ力によって、より多くの市民にサッカーに親しんでもらうことができ、FC東京を応援する機運を醸成するなど市全体としてのスポーツ振興につなげることができた。令和3年度の各事業への参加者数は、オンライン指導者講習会15人、子どもサッカー体験教室150人、初心者向けフットサル教室40人であった。今年度初の試みで実施した「初心者向けフットサル教室」については、コロナ対策のため人数を制限して実施したが、参加者からも大変好評で、引き続き同様の事業を実施していきたい。また、FC東京応援企画やユニフォームデーの実施など市全体、さらには他市との連携によるFC東京を応援する機運醸成が高まっているので引き続き実施していきたい。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>各事業は例年人気が高く、より多くの市民が参加できるように、各教室等の開催回数や時期、新規教室の拡充について、パートナーと協議・検討する必要がある。また、オンラインを活用した事業の実施や市民への広報など今後さらに協働して展開できる可能性がある。なので引き続きFC東京との協働について検討していきたい。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	第4回調布市小学生ラグビー大会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 教育部 指導室
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
<b>事業の概要</b> （協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布市の小学生が、ラグビーを通じて、心身の調和のとれた発達と生涯に渡って運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、自ら体力を向上しようとする態度を育てるために実施した。調布市ラグビーフットボール協会及び市内小学校の協力のもと実施し、令和3年度は22チーム171人の参加があった。			
協働のパートナー	調布市ラグビーフットボール協会、東芝レイブルース東京	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・広報・運営・準備等のサポート	
	市の役割	事業の企画・広報・運営・準備	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり規模を縮小して開催したものの、調布市と協定を締結している東芝レイブルース東京のご協力もあり、大変盛り上がった大会となった。		
<b>協働したことによる成果</b>			
新型コロナウイルス感染症の影響により1チーム当たりの人数制限を実施したため、例年より参加チーム、人数は少なかったものの合計22チーム171人の参加があり、盛況のうちに終了した。学校によって多少の違いはあるものの、先生の指導のもと、本事業に向けて練習を積んだチームの出場もあり、小学生の間でも人気の大会として定着している。また、協定を提携しているラグビーチーム東芝レイブルース東京の協力もあり、表彰式のプレゼンターや景品の提供などをして頂き、子どもたちにとって非常に良い経験になった。			
<b>協働に当たった課題と対応</b>			
令和4年度以降はパートナーである調布市ラグビーフットボール協会が主体となり、市民体育祭として実施予定なので、今後の事業の定着と継続のため、大会が円滑に進むように市としてサポートを行う必要がある。			

協働事業名	調布市障害者スポーツ体験会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
<b>事業の概要</b> （協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020パラリンピック競技大会により、パラスポーツへの関心が高まった機運の継続と大会を契機とした障害者スポーツ振興を図るため、各競技を実際に体験してもらうことで、障害者スポーツの面白さを感じ、より身近に感じてもらう機会とすることを目的とする。また、障害の有無に関わらず、誰もが楽しめる体験会とすることで、共生社会の実現に向けた事業。競技団体や会場となった武蔵野の森総合スポーツプラザと協働して実施することで、体験会が幅広いコンテンツによる内容の充実や、周辺地域に向けた障害者スポーツの振興が図ることができた。			
協働のパートナー	武蔵野の森総合スポーツプラザ、（公社）東京都障害者スポーツ協会、（一社）日本車いすバスケットボール連盟、（特非）日本ブラインドサッカー協会、FC東京、調布市スポーツ推進委員会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の広報・運営・準備等のサポート	
	市の役割	事業の企画・広報・運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 平成29年度に第1回目を実施して以降、毎年様々な団体等との連携を強化し、内容の充実を図っているため、障害の有無に関わらずスポーツに親しむことができる機会となっている。		
<b>協働したことによる成果</b>			
同事業は今後も様々な主体と連携し毎年開催することで、参加者がそれぞれの競技性を知ることができる。また、パラスポーツへの興味関心を高め、障害理解の促進、そしてスポーツの力による共生社会の実現につなげることができる。			
<b>協働に当たった課題と対応</b>			
平成29年度から毎年内容を充実させながら実施してきた中で関係性を構築してきた各競技団体や関係団体との連携を強化し、今後も事業を継続して実施できるよう、企画段階から事業の目的を共有し、細やかな情報共有を図る必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市障害者スポーツの振興における協議体	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
障害者スポーツの振興という目的のもと、福祉分野とスポーツ分野の関係者からなる協議体を設立、各団体が現状や課題を持ち寄り連携の可能性を探る場を設けた。その中で、障害者のニーズの把握や事業への参加という課題を解決するため、障害者向けのスポーツや運動活動事業や地域の支え手の育成、充実のための事業を検討し、実施につなげた（コロナの影響により事業は1回）。			
協働のパートナー	調布市体育協会、調布市スポーツ推進委員会、調和SHC倶楽部、調布市作業所等連絡会、地域生活支援センター、調布市社会福祉協議会、調布市社会福祉事業団、東京都、東京都障害者スポーツ協会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
	市の役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
	令和元年度に協議体を設置してから令和2・3年度は都のモデル事業として、事業の企画検討・実施を行ってきたが、令和4年度以降は本協議体の活動を参考に都が設立した補助金を活用し、取組の継続・定着を図る。		
協働したことによる成果			
障害者スポーツの振興事業を実施していく上で、スポーツ分野のみでは障害者のニーズの把握が難しく、福祉分野のみではどのようなスポーツ活動を行えば良いかわからない等の課題があるが、両者が連携することで、お互いの強みや出来る事を持ち出し、課題解決に向けた具体的な方策を検討できるようになった。			
協働に当たった課題と対応			
協議体では、様々な分野から意見をもらうため、スポーツ分野・障害福祉分野問わず関わりのある事業へ参加を呼び掛けていく。また、協議体を開催する上で、参加者が平日日中の参加が難しい場合も多いため、意見交換会を夜間あるいはオンラインで開催するなど参加しやすい時間帯・手法の工夫が必要である。また、協議体事業を実施する上でも、より多くの障害者に参加していただけるよう、曜日や時間帯、開催場所や交通手段など、通いやすさへの配慮は必要である。			

協働事業名	NTT東日本バドミントン部との連携事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
NTT東日本バドミントン部との連携により、バドミントン競技の認知度向上やその普及・選手の育成に取り組むとともにNTT東日本バドミントン部に所属している日本A代表の5人からツイッターを通してメッセージ動画を配信し、NTT東日本バドミントン部の認知度向上を図った。リモートバドミントン教室については、新型コロナウイルス感染症の影響により参集型の事業の実施が難しい状況だったため、参加対象を第三中学校バドミントン部に限定し、またオンラインを活用して事業を実施した。更に子どもたち向けに作成したレッスン動画の配信を実施した。			
協働のパートナー	NTT東日本バドミントン部	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営	
	市の役割	事業の参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
	NTT東日本バドミントン部の選手による指導や交流の場である「NTT東日本バドミントン部地域感謝祭」に代わる事業として新たな形式で実施（NTT東日本バドミントン部との連携としては以前から継続）。		
協働したことによる成果			
市は費用負担することなく、市民がプロスポーツに触れ、楽しむ機会を確保できた。また参加者を限定しオンラインも活用したことにより、コロナ禍においても効果的にバドミントンの競技普及に貢献することができた。参加した中学校生徒からは日常的にオンラインでも指導を受けたいという感想が多く好評であった。			
協働に当たった課題と対応			
事業実施決定以降の準備時間が短く調整に苦慮した。早めに打合せの機会を設けるなど工夫する必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市ニュースポーツ交流会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	スポーツ推進委員による生涯スポーツの振興	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
大人（中学生以上）を対象として、誰でも気軽にできるニュースポーツの交流会として開催し、ふらばーるバレーを実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年の委託事業とは違った形態で実施した。			
協働のパートナー	調布市スポーツ推進委員会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営	
	市の役割	事業の参加者募集・広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 地域住民との繋がりを持つスポーツ推進委員会と連携して実施することで、市民が参加しやすい事業となっている。		
協働したことによる成果			
参加者は例年の半分以下であったが、コロナ禍において運動の機会が減少していた参加者たちからは、「久しぶりに運動できた」という御意見をいただくなど好評だった。短時間の開催となったが市民がスポーツをする機会を設けることができた。			
協働に当たった課題と対応			
一度は開催中止の方向性だったが、パートナーの希望もあり開催に至った。判断が直前になり、その後の調整に苦慮したため、次年度以降は早期の判断をできるようサポートしていく必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。